

工事店様用

全量買取向け

# ZMPMCD エコめがね モバイルパックマルチコネクト 〈パワコン接続タイプ〉

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

## 施工・取扱説明書 Ver1.6

この施工・取扱説明書は、  
エコめがね全量 10 年プラン モバイルパックマルチコネクト〈パワコン接続タイプ〉、及び  
エコめがね forO&M 全量レンタルプランモバイルパックマルチコネクト〈パワコン接続タイプ〉（アラカルトプラン）の  
施工・取扱方法について、説明しています。

はじめにこの施工・取扱説明書をよくお読みになり、十分ご理解のうえ、  
正しく安全にご使用ください。

- 施工に際して記載内容を守ってください。
- 施工は電気の知識を有する専門家が行ってください。

# 目次

---

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意	3
施工・設定の流れ	7
本製品について	8

## 施工手順

部材・機器の準備	15
施工にあたってご準備いただくもの	16
システムの配線について	18
パワーコンディショナの配線・設定	19
本体を設置する	20
電源ケーブル・接地線の配線	22
本製品に通信ケーブルをつなぐ	23
終端抵抗設定を行う	24
電源の起動	26
初期設定前の確認	30
初期設定～設定ツール(ブラウザ版)の場合～	31
動作確認～設定ツール(ブラウザ版)の場合～	36
初期設定～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～	39
動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～	44

## 取扱方法


設定確認・編集～設定ツール(ブラウザ版)の場合～	47
設定確認・編集～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～	49
動作確認～設定ツール(ブラウザ版)の場合～	50
動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～	52
パワーコンディショナを交換・追加する	53
ファームウェアを更新する	54
本体を取り外す	58


## その他


設定ツール画面 こんな時には？	59
電力会社への申請書式	67

# 安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。





 <b>危険</b>	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、時に死亡に至ったり、重傷を負う場合も起こり得ます。また、同様に深刻な物的損害※を受けるおそれがあります。
---------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------





 <b>警告</b>	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。また、同様に重大な物的損害※を受けるおそれがあります。
---------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------

 <b>注意</b>	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害※を受けるおそれがあります。
---------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------

※ 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。







お守りいただく内容を次の図記号で説明します。

	●一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告
	●分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示
	●感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告








 <b>危険</b>	
	周囲に発火性、腐食性のガスがある場所、火の近くなどの環境下では使用しないでください。 爆発、火災、感電のおそれがあります。
	本装置の隙間などから、異物(金属片、可燃物、液体等)が内部に入らないようにしてください。 火災や感電のおそれがあります。
	既定の電源電圧でご使用ください。 規定外の電源電圧を供給されますと火災や感電の原因となります。

## 安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意(つづき)

### 警告









	本装置は、幼児の手の届かないところに設置してください。 感電による傷害が起こる可能性があります。
	本装置にぬれた手で触れないでください。 感電による傷害や機器故障のおそれがあります。
	本装置を分解・改造しないでください。 感電による傷害や火災が起こるおそれがあります。電波法でも禁止されています。
	本装置の設置・施工の際は、系統電源及び本装置の主電源を必ずオフにしてください。 感電による傷害が起こるおそれがあります。
	サーキットプロテクタは、線間電圧による感電の保護はできません。 2本の電線を握ると感電し、漏電動作はしません。
	通電中は、顔や手を近づけたり、触れたりしないでください。 高電圧になる部品や高温になる部品があります。 感電や火傷のおそれがあります。

### 注意

	本装置の設置は電気設備技術基準、内線規程に従い、第1種または第2種電気工事士が行ってください。 感電・火災のおそれがあります。
	本装置の取り付けは、十分な強度のある壁面の平坦な面に確実に固定してください。 落下し、機器の故障やけがの原因となるおそれがあります。
	サーキットプロテクタの端子ネジは標準締付トルクで確実に締付けてください。 発熱・発火の原因になります。5年に1回程度、端子ネジの増締めをお願いします。
	本装置を、湿気の多い場所(洗面所、脱衣所、作業場、調理場など)に設置・保管はしないでください。 また、装置内部に水や液状のもの、導電性の塵が入った状態で使用すると非常に危険です。 焼損のおそれがあります。
	扉を確実に閉めてご使用ください。 雨水などの侵入により内部機器を故障させるおそれや、風などによる扉の破損、脱落の原因になります。
	設置・施工時以外は、プラボックスの扉に鍵をかけてください。 設備管理者の意図しない方が本装置を操作すると、感電・火災につながるおそれがあります。
	穴加工およびノックアウト加工をする際は、突起やバリをやすりなどで確実に除去してください。 配線を傷つけたり、けがの原因となります。

## 安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意(つづき)

### 注意(つづき)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本装置の清掃は、乾燥した柔らかい布で行ってください。</li> <li>● 有機溶剤（シンナー、ベンジン等）など揮発性のものや、強アルカリ性物質、および強酸性物質や薬品を使用しないでください。</li> </ul> <p>ケースの変色や機器故障のおそれがあります。</p>
	<p>極端な高温下や低温下、または温度変化の激しい場所での使用および保管はしないでください。</p> <p>例 ・ 直射日光の当たる場所 ・ 熱源の近く</p>
	<p>本装置を振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれがあるところに設置・保管（輸送を含む）しないでください。</p> <p>落下により怪我をしたり、機器故障のおそれがあります。</p>
	<p>必ずアース(接地)を行ってください。</p> <p>設備異常で漏電が発生した場合、感電のおそれがあります。</p>
	<p>強い磁界、電波を発生する機器の近くでの使用、保管は避けてください。</p> <p>まれに誤作動(停止、リポート)や部品の故障を招くおそれがあります。</p>
	<p>本装置内のコネクタ等には触らないでください。</p> <p>コネクタの接合部に無理な力がかかると機器の破損や接続不良の原因となります。</p>
	<p>過電流や過電圧(雷サージ等)の影響を受けるような場所で使用する際には、すべての進入経路(電源線、LAN、アースなど)に対し適切なサージ保護デバイス(SPD)を選定し使用してください。SPDの選定/導入/設置については、専門の業者で行ってください。</p> <p>本装置の故障、焼損のおそれがあります。</p>
	<p>本装置をつないだ状態でパワーコンディショナのメンテナンスツールは使用しないでください。</p> <p>本装置が故障するおそれがあります。</p> <p>※メンテナンスツールとは、 設定・保守時にパワーコンディショナの通信端子と接続して、 パワーコンディショナから情報を取得する装置・手段を指します。</p> <p>※やむをえずメンテナンスツールを使用される場合は、 本装置の端子台にねじ止めされている通信線を外してからご使用ください。 ご使用後は通信線を元に戻してください。</p>

# 安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意(つづき)

## 安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので、必ずお守りください。

- 本装置を廃棄する場合は、地方自治体の条例または規則等に従ってください。
- 本装置を廃棄する場合は、専門業者に依頼してください。
- 本装置に発煙、発熱、その他の異常を感じた場合は、本装置の主電源（ブレーカ）をオフにしてください。
- 本装置は、垂直な壁、もしくは架台に確実に固定してください。
- 本装置を押しや階段下など、通風を妨げるような場所に設置しないでください。
- サーキットプロテクタへの配線は、圧着端子（M4）を使用してください。

## 使用上の注意

- 本装置は、NTTドコモ FOMAサービスエリア内でご使用ください。  
FOMAサービスエリアは以下のサイトでご確認いただけます。  
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/>
- 本装置は静電気によって故障、破損することがあります。本製品に触れる前に身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。
- 本装置は計量法に定める指定機関が行う検定に合格した特定計量器ではありませんので、電力量の証明には使用できません。目安としてご利用ください。なお、発電量などの数値の表示精度はパワーコンディショナの性能に依存します。接続するパワーコンディショナの製品仕様書を確認してください。
- 出力制御をおこなう機器と併設する場合は、出力制御機器の動作が正しく行われることを確認してください。出力制御が正しく行われず、発電が停止する可能性があります。
- 本装置に接続できるパワーコンディショナにつきましては、弊社営業窓口までご連絡ください。対応外のパワーコンディショナを接続されますと機器故障のおそれがあります。
- 本装置を以下のような場所で使用しないでください。
  - 塵埃（粉塵、砂塵、綿ホコリ、金属粉、オガ屑、ワラ屑等）の多いところ
  - 金属・金具類に覆われた場所、金属の壁への設置、金属の机の上、金属製品のそば、電話機・FAX・パソコン・パソコン周辺機器・テレビ・電子レンジ・IH製品の近く
- 本製品を次のような場所に設置しないでください。
  - 温度変化が激しいところ
  - 潮風にさらされるところ
  - 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有毒ガスのあるところ
  - 浴室・脱衣所、台所等の水蒸気、油蒸気、結露のあるところ
  - 直射日光の当たるところ
  - 虫や小動物が多いところ
  - 使用温度範囲以外のところ
  - 使用湿度範囲以外のところ
  - 標高2000mを超えるところ
- ケーブル（本装置内部のケーブル、施工により取り付ける電源ケーブル、通信ケーブルなど）を強く引っ張らないでください。
- パワコン・SVセンサ間通信ケーブルは正しく接続してください。
- 複数台接続時のパワコン間通信ケーブルは正しく接続してください。
- パワーコンディショナを複数台接続する場合は、同一シリーズのみで接続してください。
- パワーコンディショナとの通信ケーブルについては、弊社ホームページにある「パワーコンディショナ-SVセンサ間通信ケーブル加工マニュアル」を参考にご準備をお願いいたします。

# 施工・設定の流れ

---

システム配線について確認します (P.18)



パワーコンディショナの配線・設定を行います(P.19)

- パワーコンディショナの配線
- パワーコンディショナの局番設定

必ず各パワーコンディショナの局番と終端抵抗の設定を行ってください。



モバイルパック本体を設置します (P.20)



電源ケーブル・接地線をモバイルパックに配線します (P.22)



通信ケーブルの配線・接続を行います(P.23)



終端抵抗の設定を行います(P.24)



SVセンサの初期設定を行います (P.30)

ご利用される設定ツールにより、手順が異なります。

【設定ツール(ブラウザ版)】

- 初期設定(P.31)
- SVセンサの動作確認(P.36)

【設定ツール(ソフトウェア版)】

- 初期設定(P.39)
- SVセンサの動作確認(P.44)



初期設定の完了

# 本製品について

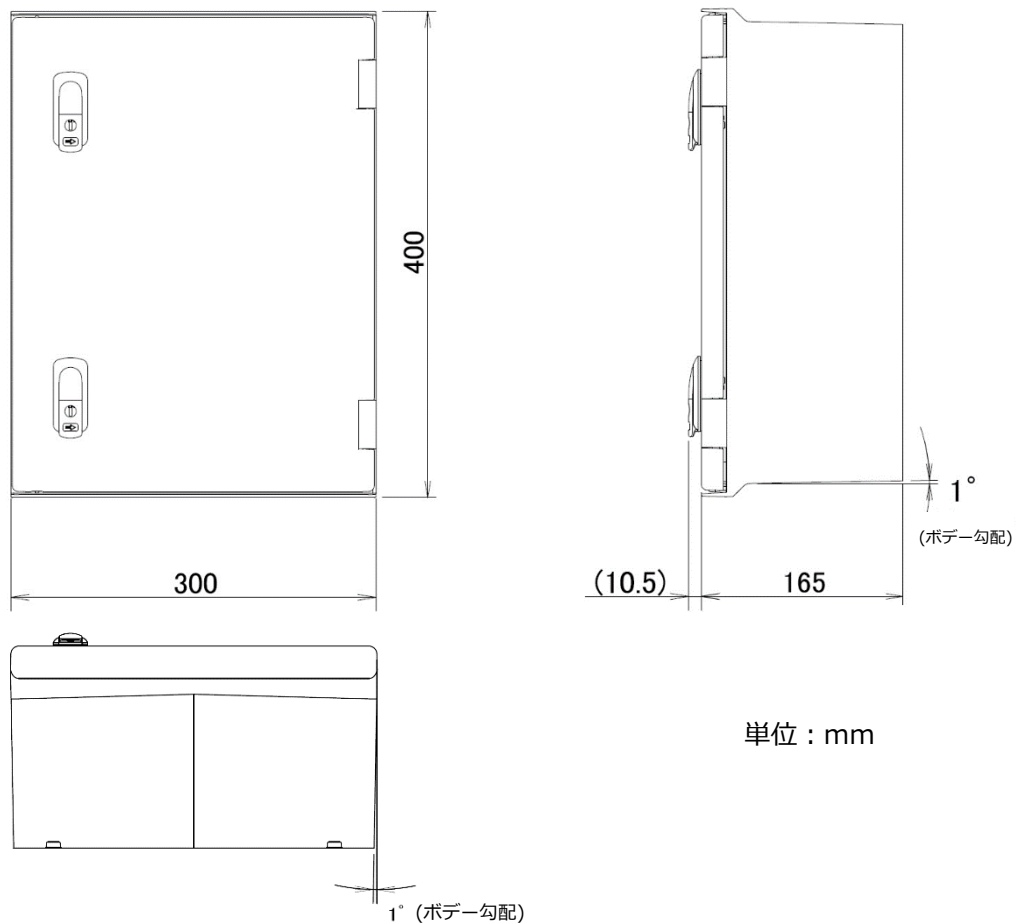
## ●仕様

項目	仕様
■ 型式	ZMPMCD
■ 使用周囲温度	-10 ~ +60 °C
■ 保存温度	-20 ~ +60 °C
■ 使用周囲湿度	相対湿度 20 ~ 80 % (ただし結露または氷結しないこと)
■ 保存湿度	相対湿度 20 ~ 85 % (ただし結露または氷結しないこと)
■ 接続可能 パワーコンディショナ型式	接続可能なパワーコンディショナについては、 弊社ホームページを確認してください。
■ 接続可能 パワーコンディショナ台数	最大接続台数：9 台 ※ただし、パワーコンディショナ、周辺機器の仕様によって 台数が制限されている場合はその仕様に従います。
■ 電源	単相 AC100V/200V
■ 消費電力 [W]	最大 14.7W
■ 入力容量 [VA]	最大 34.0VA
■ 保護構造	IP65 相当 ※施工状態によって、IP 等級は変化します。
■ 質量	6kg 以下
■ 外形寸法	突起部除く 幅 300×奥行 165×高さ 400 mm (突起部含む 幅 300×奥行 175.5×高さ 400 mm)

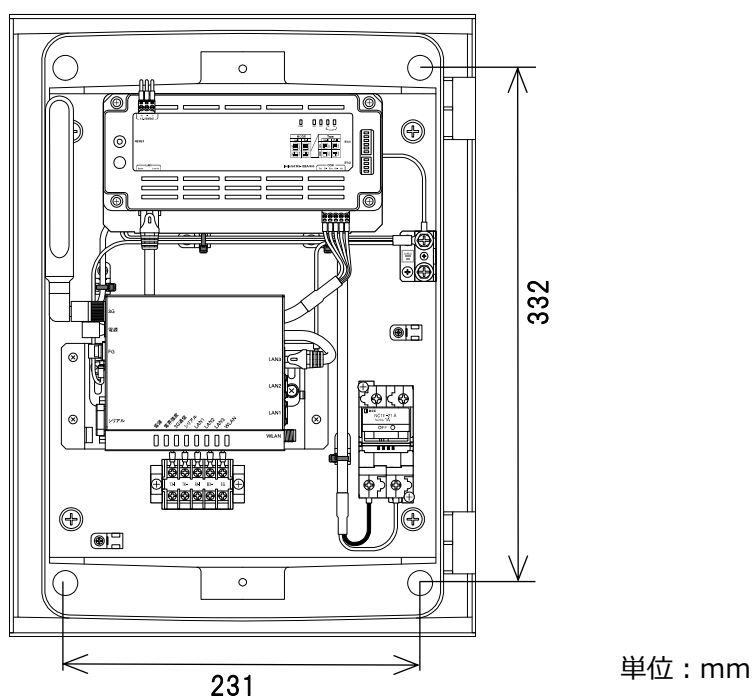


## 本製品について(つづき)

### ●本体の外形寸法

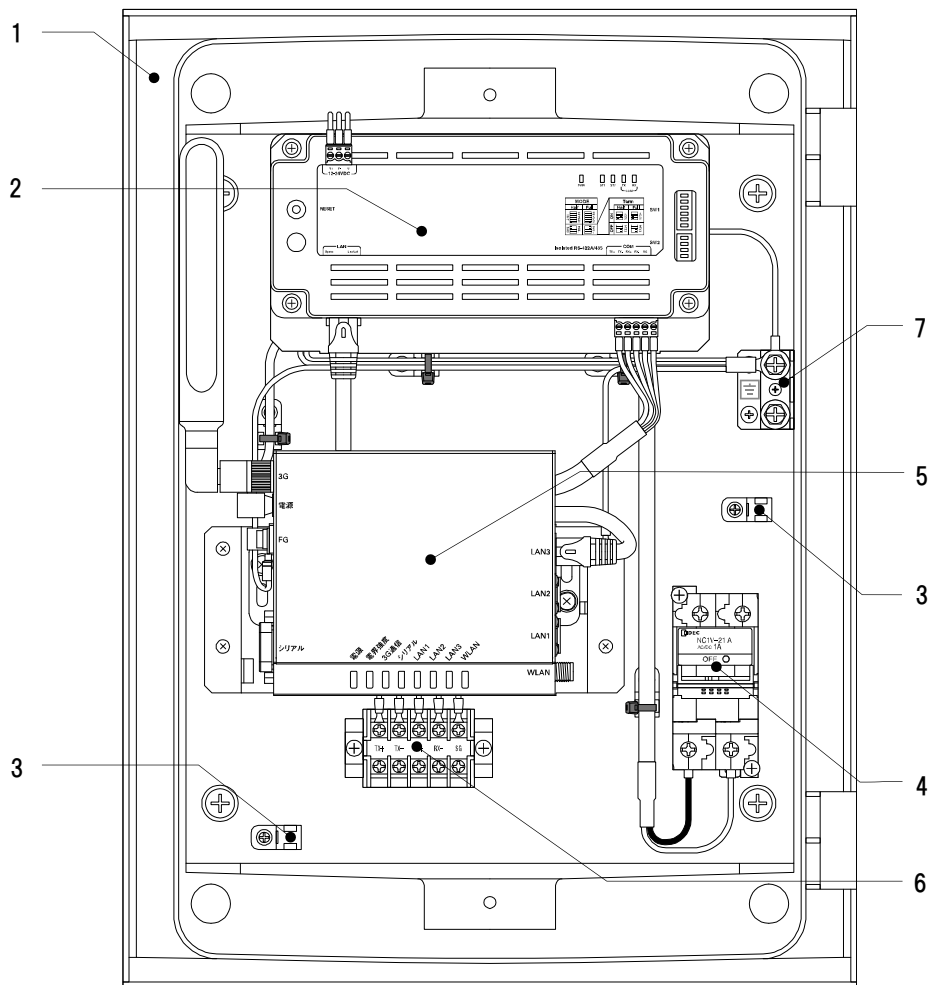


### ●本体取付穴位置



# 本製品について(つづき)

## ●搭載機器名称

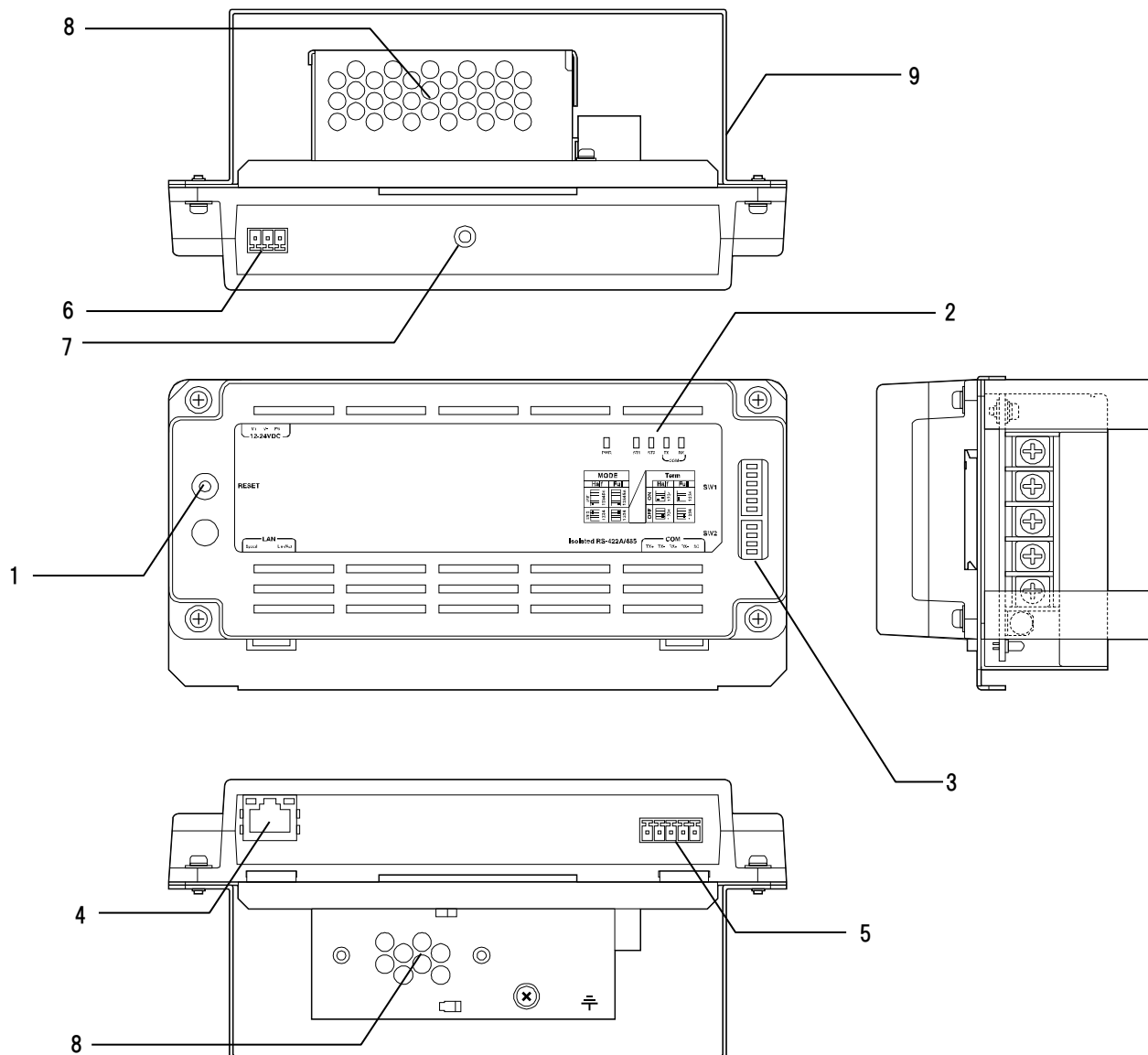


番号	名称	機能
1	プラボックス	保護等級：IP65 相当
2	SV センサユニット	パワーコンディショナから情報を取得します
3	アンカーマウント	電源ケーブル、通信ケーブルを固定する際に使用します
4	サーキットプロテクタ	搭載機器の保護用 電源ケーブルを接続します
5	3G ルータユニット	サーバと通信を行います
6	通信線用端子台	パワーコンディショナの通信線とSV センサを接続します
7	アース端子	接地線接続用 (D 種接地)

# 本製品について(つづき)

## ●各機器の詳細

### ■SVセンサユニット



#### 1 RESETスイッチ

SVセンサを再起動します。

#### 2 表示LED通信ランプ

SVセンサの動作状況を表示します。

※詳細は次頁に記載

#### 3 設定SW(DIP-SW)

RS通信モード設定、終端抵抗設定を行います。

※詳細は次頁に記載

#### 4 LANコネクタ

3GルータとLANケーブルで接続します。

#### 5 RS485コネクタ

パワーコンディショナからの信号線を接続します。

※施工では、本コネクタに対して作業は行いません。

#### 6 電源コネクタ

電源ユニットからの電力の供給を受けます。

#### 7 検査用コネクタ

出荷検査用のコネクタ端子です。

本製品では使用しません。

#### 8 電源ユニット

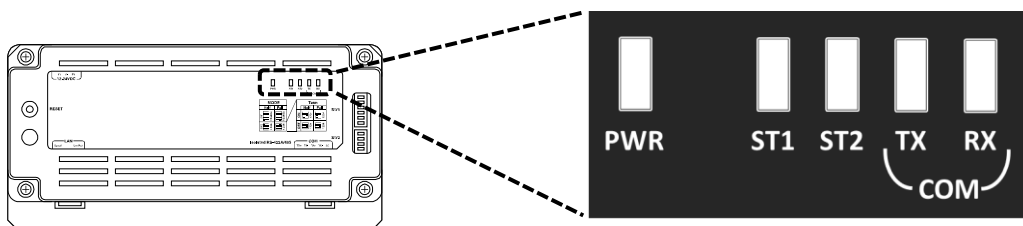
SVセンサ、3Gルータへ電源を供給します。

#### 9 ベース

# 本製品について(つづき)

## ●SV センサの表示 LED ランプについて

SV センサの動作状況に応じて、LED ランプの表示は変化します。

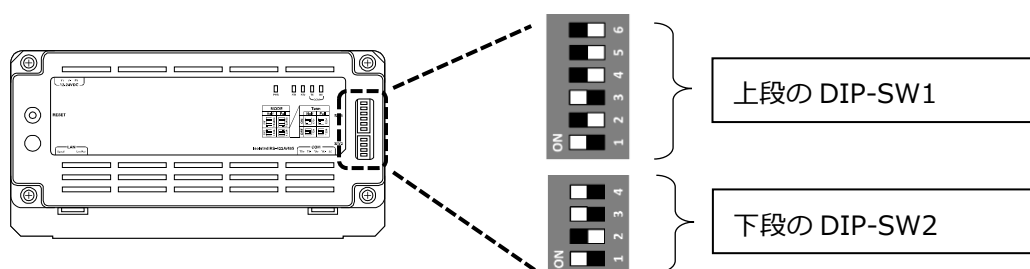


- ・ PWR
  - 緑点灯 電源 ON
  - 消灯 電源 OFF
- ・ ST1
  - 緑点滅 計測中、もしくはファームウェアアップデート\*
  - 緑点灯 計測時間外
  - 消灯 未設定
- ・ ST2
  - 消灯 正常動作
  - 赤点滅 ファームウェアアップデート\*
  - 赤点灯 サーバ通信異常
- ・ TX、RX
  - 黄点滅 パワーコンディショナと通信中 (パワーコンディショナの機種によって RX のみ黄点滅となる場合あり)
  - 消灯 パワーコンディショナとの通信なし

※アップデート時、ST1、ST2 は同時点滅

## ●設定スイッチ(DIP-SW)の機能について

DIP スwitchの機能は下記の通りです。



※SW の状態を白の四角で表しています。

### 上段の DIP-SW1

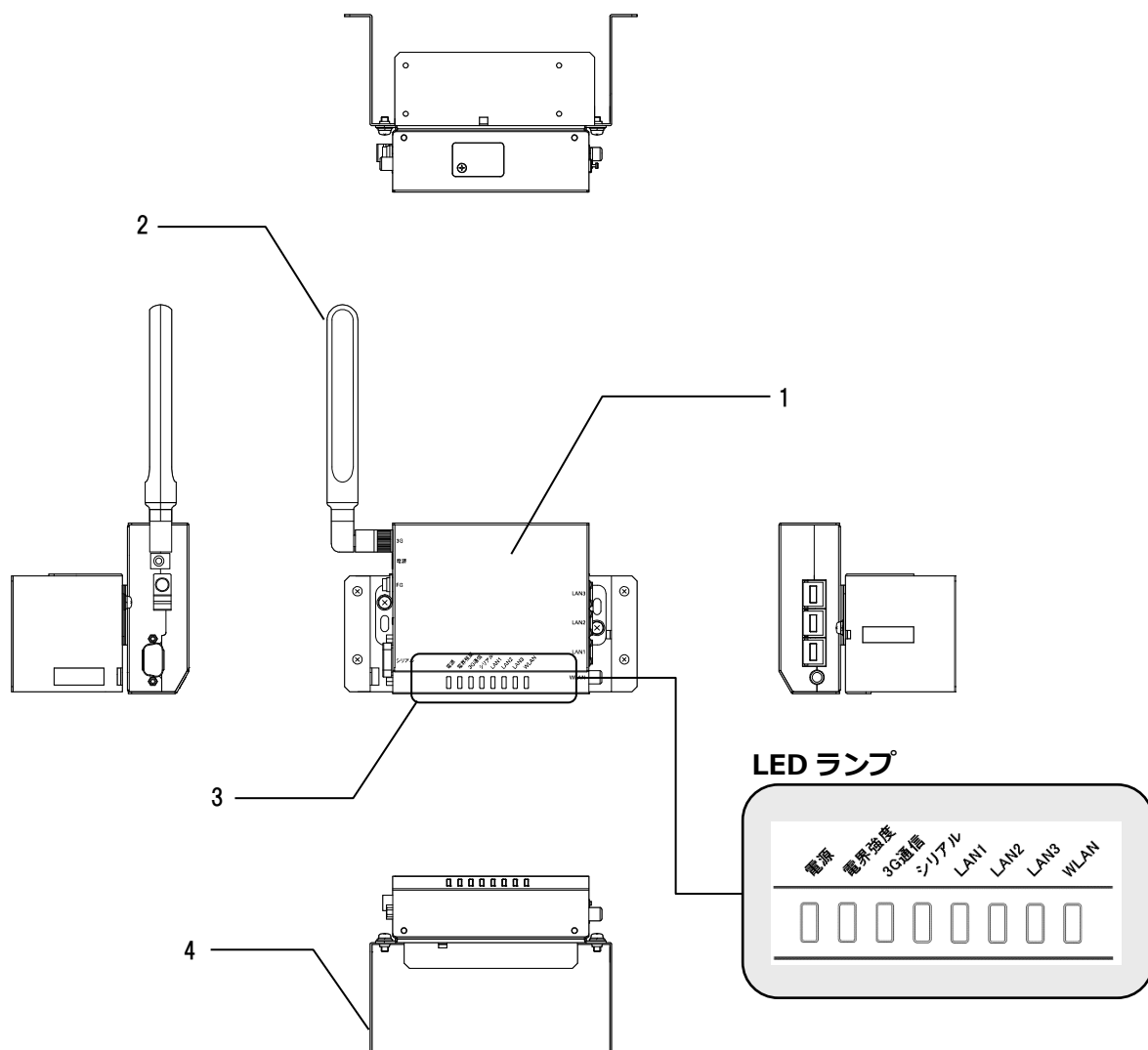
No	機能	概要
6	システム予約	常時 OFF でご使用ください
5	システム予約	常時 OFF でご使用ください
4	システム予約	常時 OFF でご使用ください
3	センサ設定	常時 ON でご使用ください
2	システム予約	常時 OFF でご使用ください
1	RS 通信モード	常時 ON でご使用ください

### 下段の DIP-SW2

No	機能	概要
4	TX-/RX-状態	常時 ON でご使用ください
3	TX+/RX+状態	常時 ON でご使用ください
2	RX 終端抵抗	ON : 終端抵抗有効 OFF : 終端抵抗無効
1	TX 終端抵抗	ON : 終端抵抗有効 OFF : 終端抵抗無効

# 本製品について(つづき)

## ■3G ルータユニット



### 1 3Gルータ本体

データ通信を行う装置です。

### 2 3Gアンテナ

3G網とデータ通信をおこなうアンテナです。

### 3 LEDランプ

3Gルータの動作状況を表示します。

#### ●電源

- 緑点滅：電源ON
- 消灯：電源OFF

#### ●電界強度

- 緑点灯：電界レベル5（強）
- 緑点滅：電界レベル4
- 橙点灯：電界レベル3
- 橙点滅：電界レベル2
- 赤点灯：電界レベル1
- 赤点滅：電界レベル0（弱）

#### ●3G通信

- 赤点灯：圏外
- 橙点滅：メンテナンス中
- 橙点灯：ソフトウェア書込中
- 赤点滅：装置内異常
- 緑点滅：発信中／着信中
- 緑点灯：通信中
- 消灯：通信なし

#### ●シリアル

使用しません。

#### ●LAN1、LAN2、LAN3（LAN3のみ使用）

- 緑点滅：送信または受信中
- 緑点灯：リンクアップ（送受信なし）
- 消灯：リンクダウン

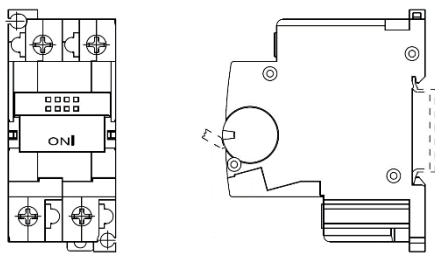
#### ●WLAN

- 消灯（使用しません）

### 4 ベース

# 本製品について(つづき)

## ■サーキットプロテクタ



型式	NC1V-2100-1AA
極数	2P
定格電流	1A
引外し機構	シリーズトリップ(電流引外し)、リレートリップ(電圧引外し)
過電流検出方式	流体電磁式
動作特性	中速形
端子構造	M4 (圧着端子・電線直付兼用)
端子トルク	1.0~1.4 N・m

## 施工手順

# 部材・機器の準備

### ●同梱品の確認

施工の前に、以下の同梱品がすべてそろっていることを確認してください。

名称	数量
モバイルパックマルチコネクタ	1台
エコめがねスタートキットフォルダ	A4サイズ 1部 <sup>※1</sup>
商品登録シート	A4サイズ 1部
施工・設定簡易マニュアル	A2サイズ(折り畳み) 1枚
安全上のご注意	A3サイズ(折り畳み) 1枚
ネジキャップ	4個
キー (No.200)	1本
矢印ラベル (使用しません)	2枚
防水キャップ	2個 <sup>※2</sup>

※1 エコめがね forO&M 全量レンタルプランモバイルパックマルチコネクタ<パソコン接続タイプ> (アラカルトプラン) をご購入の場合、スタートキットは同梱されません。

※2 塩害オプションをご契約の場合のみ、防水キャップが同梱されます。

# 施工にあたってご準備いただくもの

## 機器類

### ●モバイルパックマルチコネク

施工・取扱説明書に従い、発電所に設置いただく機器です。

### ●SV センサ設定用端末

モバイルパックマルチコネクを設置いただく際、SV センサ設定ツールを使用して設定作業を実施いただく必要があります。

設置現場で Web 接続可能な情報端末(PC、スマートフォン、タブレット端末等)、

もしくは

最新版の「SV センサ設定ツール」をインストールした Windows PC

のいずれかをご準備ください。

※ Windows PC をご準備いただくにあたり、最新版の「SV センサ設定ツール」をご利用いただけない場合は、マルチコネク対応 PCS 型式であっても設定が行えないことがありますのでご注意ください。

Windows PC の性能(SV センサツールの利用環境)の確認や最新版の SV センサ設定ツールの入手については、エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページを確認してください。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

### ●LAN ケーブル

SV センサ設定時に 3G ルータと設定用 PC を LAN ケーブルで接続する必要があります。カテゴリ 5 以上のものをご準備ください。

## マニュアル

### ●モバイルパックマルチコネク施工・取扱説明書(本書)

本製品の施工・設定・取扱に関する説明を記載しております。

エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページよりダウンロードしてください。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

### ●モバイルパックマルチコネク施工・設定簡易マニュアル

本製品の施工・設定方法につきまして、簡易的に記載したマニュアルです。

本製品に同梱されています。

### ●パワーコンディショナ、周辺機器の施工マニュアル

本製品の設定にあたって、パワーコンディショナや周辺機器の設定を変更する必要があります。

設置されるパワーコンディショナや周辺機器の施工マニュアルをご準備ください。

### ●パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル加工マニュアル

ご利用にあたり、パワーコンディショナと本製品の SV センサ間の通信用ケーブルをご準備いただく必要があります。ご使用のパワーコンディショナに応じて、エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページより加工マニュアルをダウンロードしてください。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>



## 施工にあたってご準備いただくもの(つづき)

### 部材類

- **パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル**

パワーコンディショナ毎に入手、作成いただく必要があります。詳しくは弊社のエコめがね 販売会社さま向けダウンロードページより、「パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル加工マニュアル」をダウンロードし、内容を確認してください。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

- **パワーコンディショナ間通信ケーブル**

パワーコンディショナを複数台設置する場合は、パワーコンディショナ間をケーブルでつなぐ必要があります。詳しくはパワーコンディショナの施工取扱説明書を確認してください。

- **電源ケーブル**

本製品への電源供給の為、電源ケーブルが必要です。

- **接地用ケーブル**

機器接地用にケーブルが必要です。

- **PF 管**

プラボックス内部への電源ケーブル、通信ケーブル通線用に 2 本以上ご準備ください。

- **防水性のある PF 管コネクタ**

防水性のある IPX5 以上のコネクタを推奨します。プラボックス内部内への電源ケーブル、通信ケーブル通線用に 2 個以上ご準備ください。

- **圧着端子**

電源ケーブルや SV センサ-パワーコンディショナ間通信ケーブルを作成するために使用します。

本製品の施工で最低限必要となる圧着端子サイズは以下となります。

電源線(サーキットプロテクタ側)	: M4 サイズ
接地線(アース端子側)	: M5 サイズ
通信線(端子台側)	: M3.5 サイズ

- **結束バンド**

本製品への配線施工完了後、電源ケーブル、通信ケーブルをアンカーマウントに固定するために使用します。

- **コーキング材**

本製品への配線施工完了後、プラボックスの取付穴の隙間部分を埋めるために使用します。

- **穴埋め用パテ**

本製品への配線施工完了後、PF 管コネクタの隙間部分を埋めるために使用します。

### 工具

- **モバイルパックマルチコネクト プラボックス穴あけ加工用工具**

- **ドライバー**

- **トルクドライバ**

- **圧着工具**

- **ニッパー**

- **セラミックドライバー等**

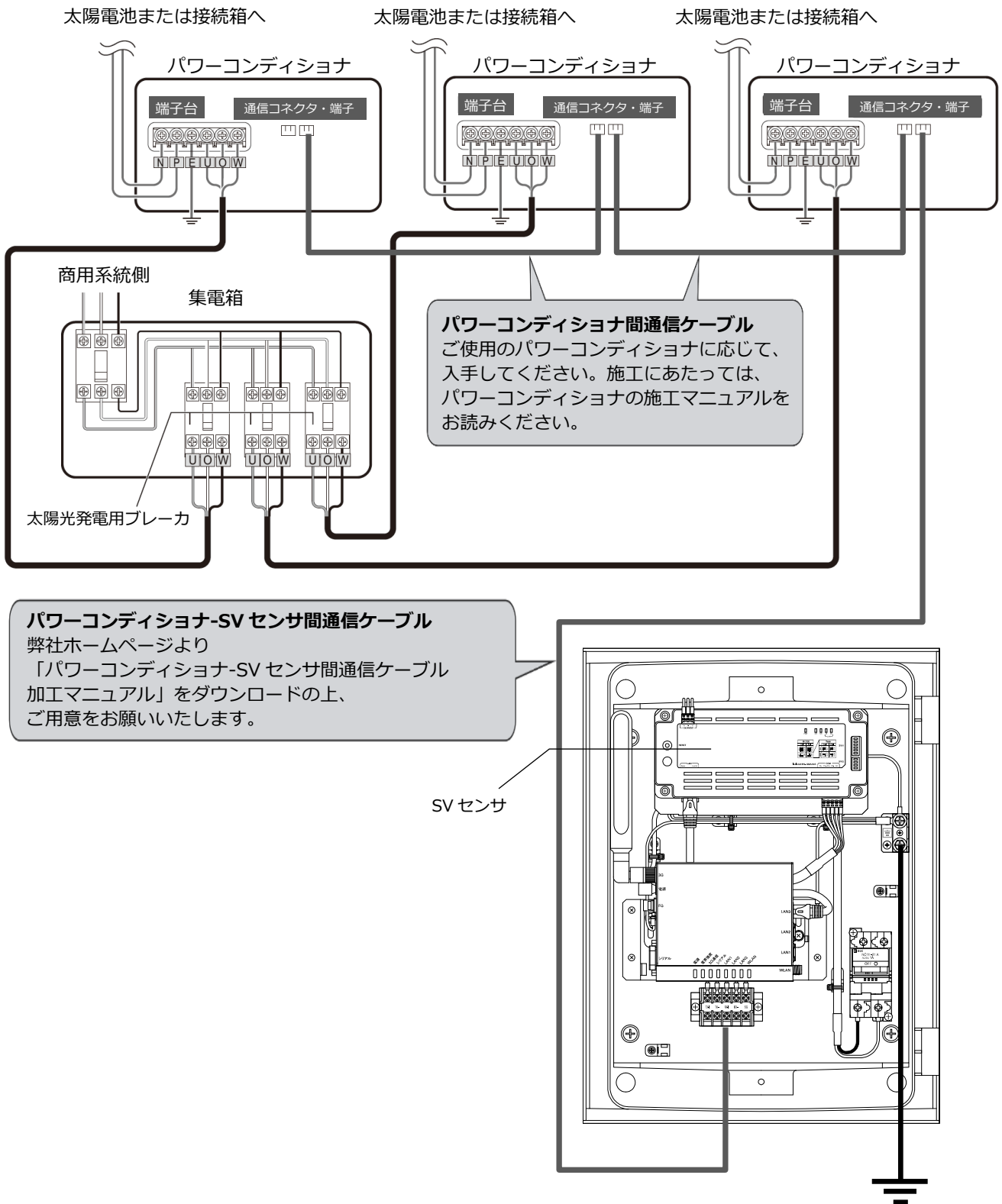
SV センサの DIP-SW 操作に使用します。電気を通さない、先の細い工具を準備してください。

# システムの配線について

モバイルパックマルチコネクタ(以降、モバイルパック MC と記載)は、**9 台までのパワーコンディショナの発電量を取得することが可能**です。

※ただし、パワーコンディショナ、周辺機器の仕様にて台数が制限されている場合はその仕様に従います。以下にパワーコンディショナを 3 台接続する場合のシステムの配線を示します。

(機器のイラストはイメージ図です)



# パワーコンディショナの配線・設定

## ●はじめに

ご使用されるパワーコンディショナにより、設定方法や通信ケーブルの配線方法が異なります。必ずパワーコンディショナの施工マニュアルを確認してから、配線・設定作業を行ってください。

### 1 パワーコンディショナを設置する

パワーコンディショナの施工マニュアルに従って、パワーコンディショナの設置施工を行ってください。

### 2 パワーコンディショナ間通信ケーブルを接続する

パワーコンディショナを複数台設置する場合は、パワーコンディショナ間をパワコン間通信ケーブルで接続する必要があります。パワーコンディショナの施工マニュアルをご確認の上、ケーブルをご準備ください。また、接続方法につきましても、同様に施工マニュアルをご確認の上、接続してください。

### 3 パワーコンディショナの局番設定

パワーコンディショナ間を通信ケーブルで接続する場合、パワーコンディショナの局番設定が必要になります。パワーコンディショナの施工マニュアルを確認し、設定を行ってください。

※パワーコンディショナの“局番”とは？

パワーコンディショナを複数台設定する場合、パワーコンディショナ毎に識別番号を設定する必要があります。本製品ではその識別番号を“局番”という名称で記載しています。

この識別番号の呼称はパワーコンディショナメーカーによって異なりますので、施工マニュアルを確認される際はご注意ください。

【例】 アドレススイッチ(Panasonic)、RS-485通信アドレス番号(三菱電機)

#### ■局番設定例

接続台数	局番
パワーコンディショナ 1 台目	1
パワーコンディショナ 2 台目	2
パワーコンディショナ 3 台目	3

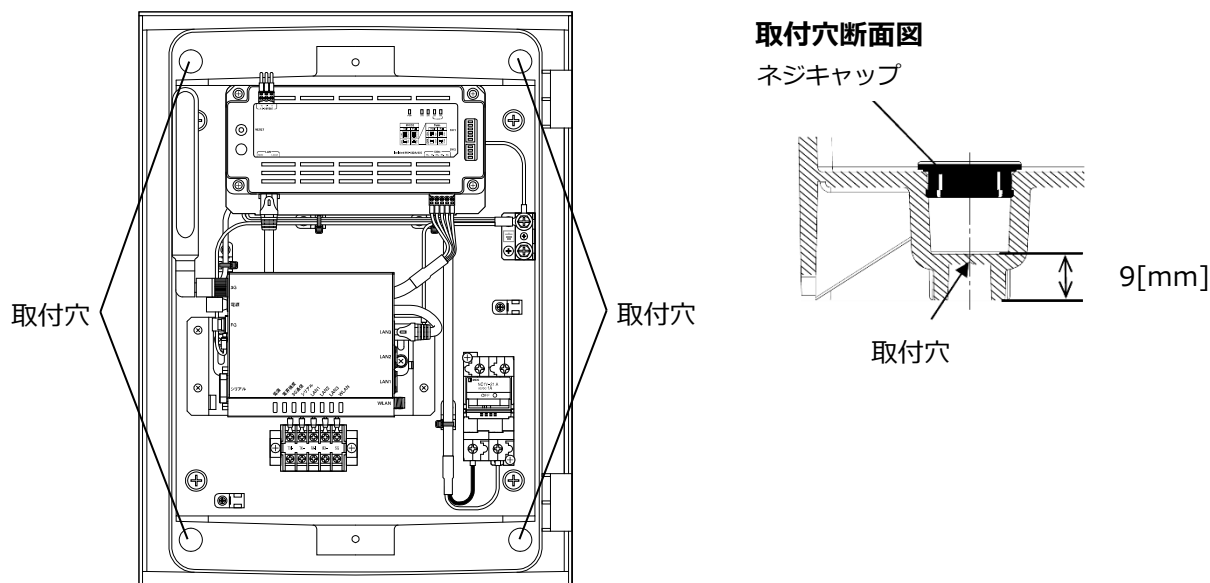
- SVセンサとの接続が近い順に、「パワーコンディショナ 1 台目」、「パワーコンディショナ 2 台目」、「パワーコンディショナ 3 台目」と表現しています。
- 工場出荷時、パワーコンディショナには同一の局番が設定されています。SVセンサと接続される複数台のパワーコンディショナの中で、局番が重複しないよう設定してください。必ず「1」から順に局番を割り当ててください。\*1  
 ※1 接続対象のパワーコンディショナによっては、周辺機器の局番設定が必要になる場合があります。
- 上記の設定例に従って、パワーコンディショナ 4 台目以降を設定される場合は、「4」、「5」、「6」の順で局番を割り当ててください。

● 局番が正しく設定されていないと、エコめがねは正しい発電量を算出できません。必ず上記の表のように設定してください。

# 本体を設置する

## 1 モバイルパック MC の取付穴に対して、穴開け加工を行う

Φ6.5～7.0 mmのドリルにて穴あけ加工を行ってください。



## 2 本体底面に穴を開ける

本製品内に電源ケーブル、パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルを引き込むため、ご準備いただく PF 管コネクタに合わせ、本体底面 2 か所(電源配線用、通信ケーブルの通線用)に穴を開けてください。

穴を開ける際、工具などでプラボックス内部の機器を傷つけないよう注意してください。

## 3 PF 管コネクタの取り付けを行う

## 4 本体を取り付ける

モバイルパックMCを架台、もしくは壁面に取り付けてください。

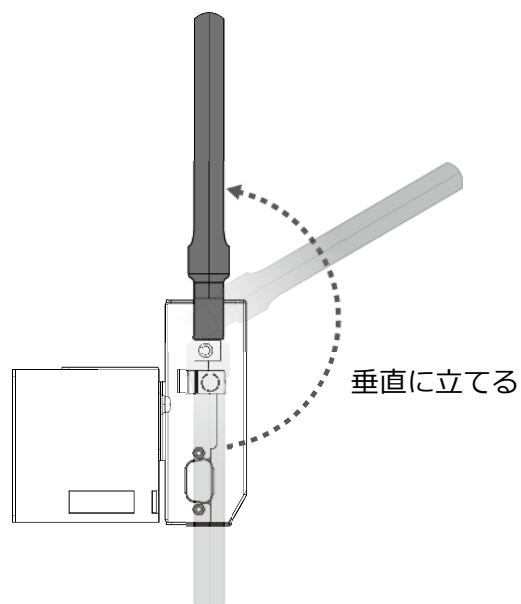
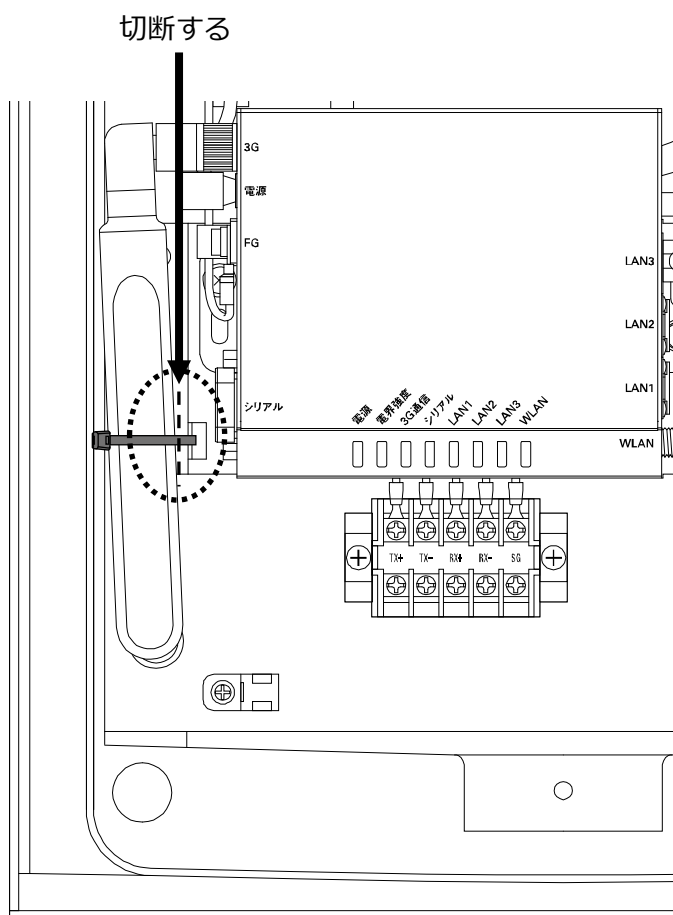
取り付け後、取付穴をコーキング材でコーキングし、同梱されているネジキャップを取り付けてください。万一、ネジキャップの取り付け等をお忘れになりますと、プラボックス内部に水分、小動物等が侵入し、内部機器の故障につながるおそれがあります。

- 直射日光が当たる場所、直接雨にぬれる場所への設置はお避けください。

## 本体を設置する(つづき)

### 5 アンテナを立てる

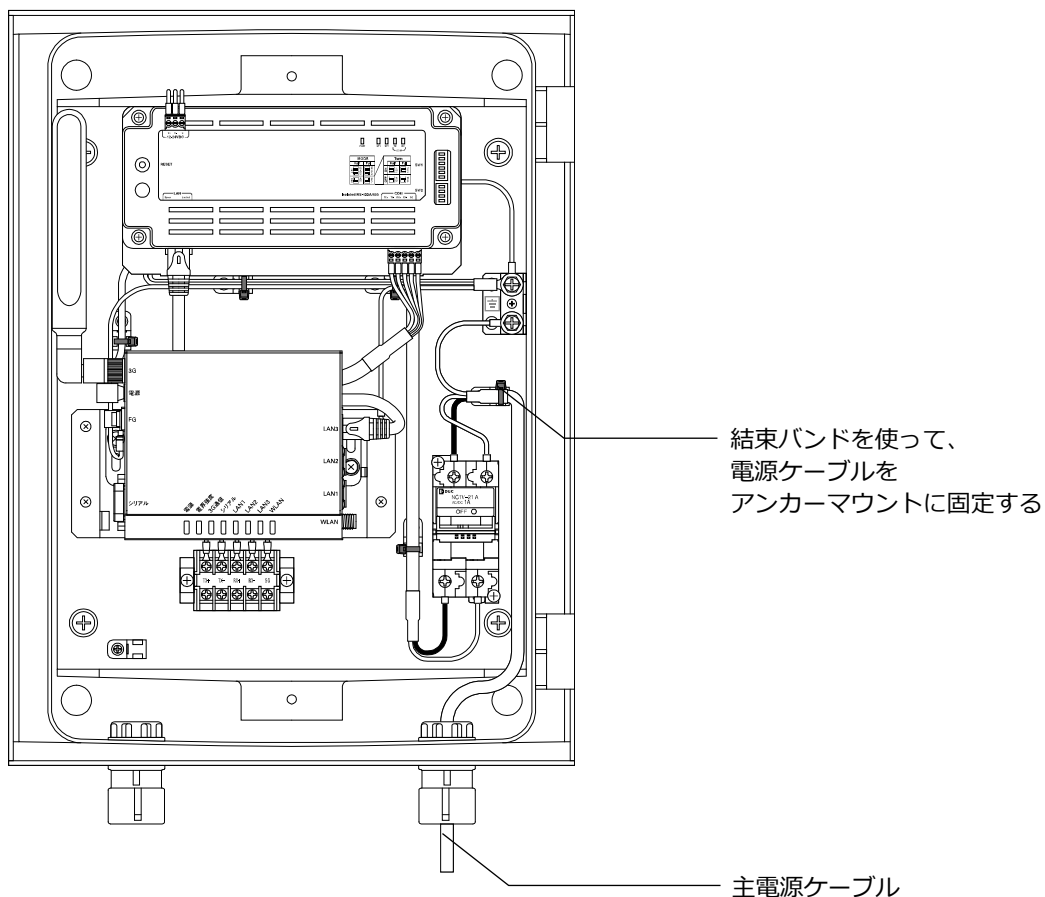
赤色の結束バンドを切断し、3G アンテナを垂直に立てます。



# 電源ケーブル・接地線の配線

## 1 電源ケーブルを、サーキットプロテクタへ接続する

- 必ず主電源のブレーカがオフであることを確認してから作業してください。



接続に関する注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施工・点検時には必ず主電源を切ってください。</li> <li>・ 電線の絶縁被ふくをかまないように圧着・接続してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 端子ネジは標準締付トルクで確実に締め付けてください。接続不良は、発熱や発火の原因になります。</li> </ul> <p><b>端子ネジ：各座金付 SS 端子プラスマイナスネジ(M4)</b>  <b>標準締付トルク：1.0~1.4N・m</b></p>

## 2 接地線をアース端子につなぐ

接地線をモバイルパック内にあるアース端子に接続します。接地線に丸端子(M5 サイズ)を圧着し、端子ネジは標準締付トルクで確実に締め付けてください。

**端子ネジ：アースボルト(M5)**  
**標準締付トルク：2.0~2.5N・m**

# 本製品に通信ケーブルをつなぐ

## 1 パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルを準備する

パワコン SV センサ間通信ケーブルは、ご使用のパワーコンディショナに応じてお客様にて作成いただく必要があります。ケーブルの作成方法については、弊社のエコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページにある「パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル加工マニュアル」を参考にご用意をお願いいたします。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

## 2 端子台にパワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルをつなぐ

モバイルパックの通信端子台には透明のカバーがついています。カバーを外してから接続作業を行ってください。

シグナルグランド(SG)のあるパワーコンディショナについては、SG 線を SG 端子に接続してください。

端子ネジ：プラスマイナスナベセムス(M3.5×6.7L)

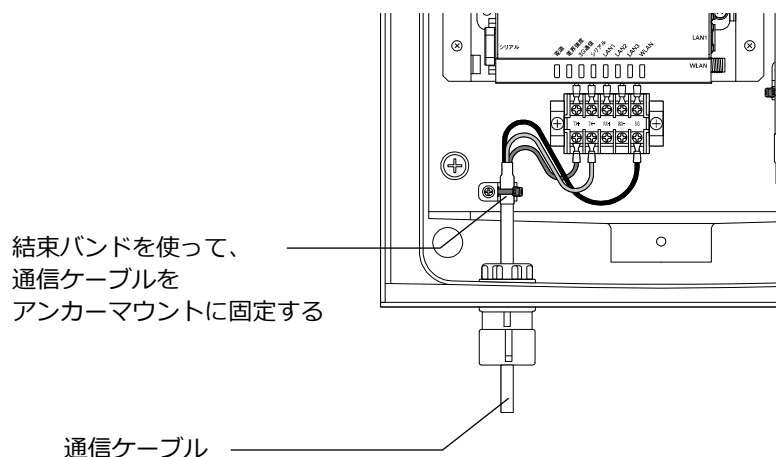
通信ケーブル接続用端子台締め付けトルク：0.8～1.4N・m

<注意>

通信ケーブルのシールドとモバイルパック MC の SG 端子とを接続しますと、機器間の通信が安定しなくなることがあります。シールドは SG 端子に接続しないでください。

結束バンドを使って通信線をアンカーマウントに固定してください。

接続完了後は外したカバーを元に戻してください。

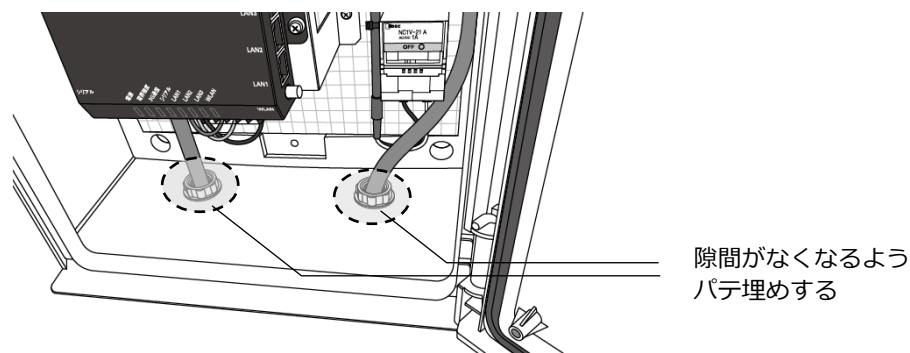


接続する機器によっては、通信端子台への接続ではなく、3G ルータの LAN ポートへの接続となる場合があります。詳しくは「パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル加工マニュアル」を参考に通信線を接続してください。

## 3 PF 管コネクタとケーブル間の隙間をパテで埋める

**PF 管コネクタと電源ケーブル、通信ケーブルの隙間をパテ埋めしてください。**

※パテ埋めが十分でない場合、プラボックス内部に水分、小動物等が侵入し、内部機器の故障につながるおそれがあります。

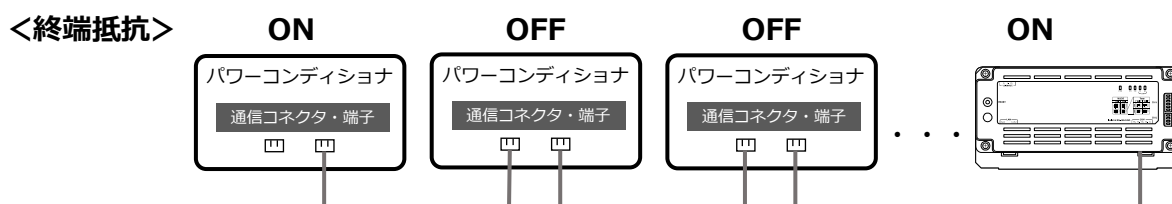


# 終端抵抗設定を行う

## ●終端抵抗設定

パワーコンディショナを複数台接続する場合は、終端抵抗の設定が必要になります。  
 一般的に、通信経路の終端に位置する機器については、終端抵抗の設定をONにし、中間に存在する機器については終端抵抗をOFFにする必要があります。  
 パワーコンディショナの終端抵抗設定については、パワーコンディショナの施工マニュアルに従って、設定を行ってください。

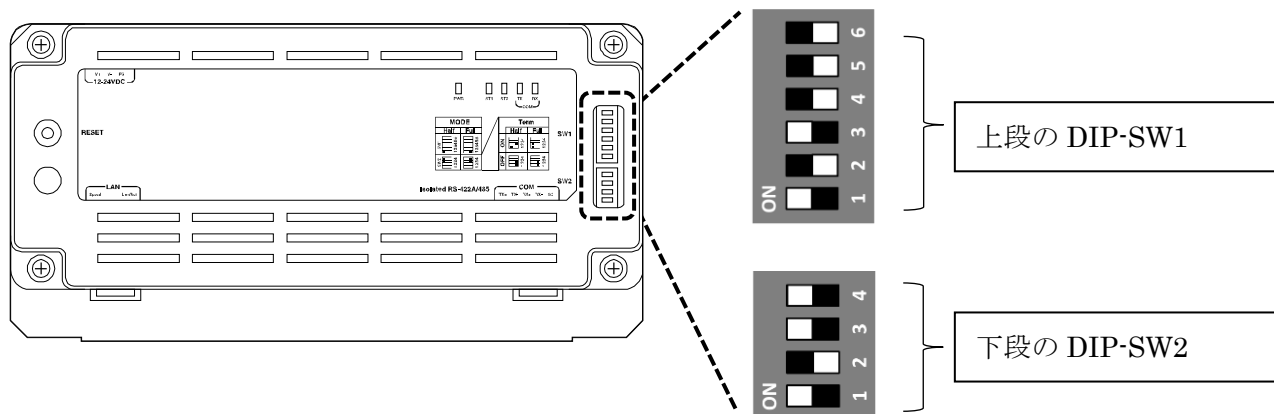
### モバイルパック MC を通信経路の終端に設置する場合(推奨)



- 通信経路の終端に位置する 1 台のパワーコンディショナ、もしくはその周辺機器の終端抵抗を ON にし、それ以外のパワーコンディショナの終端抵抗を OFF にする。

- SV センサの終端抵抗の設定を確認/変更する。

SV センサの右側にある DIP-SW2 No.1 が ON 状態であることを確認してください。  
 ON 状態でない場合、セラミックドライバ等を用いて ON に変更してください。(下図参照)

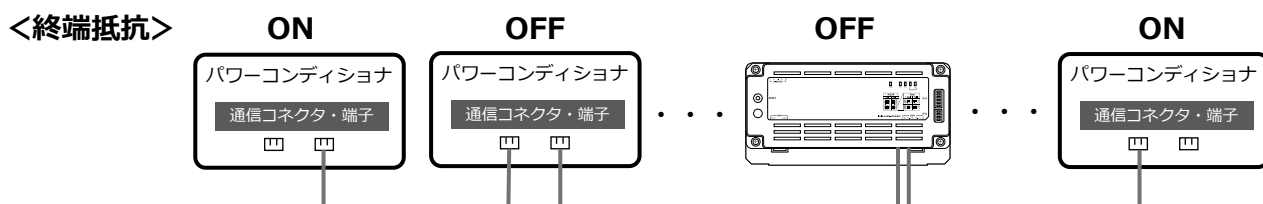


※SW の状態を白の四角で表しています。

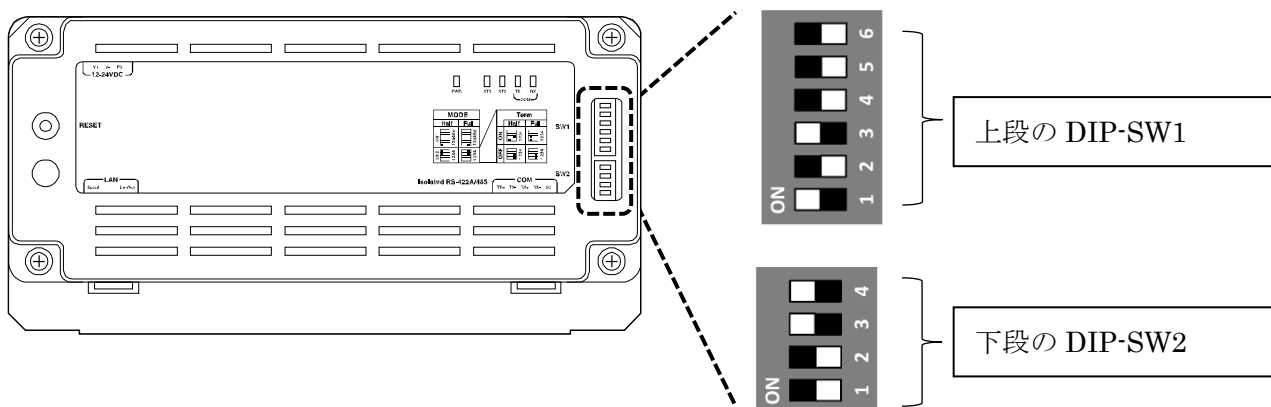


## SV センサの終端抵抗設定を行う(つづき)

モバイルパック MC を通信経路の終端以外に設置する場合



- 通信線の終端に位置する 2 台のパワーコンディショナ、もしくはその周辺機器の終端抵抗を ON にし、それ以外のパワーコンディショナの終端抵抗を OFF にする
- SV センサの終端抵抗の設定を確認/変更する  
SV センサの右側にある DIP-SW2 No.1 を、セラミックドライバ等を用いて OFF に変更してください。(下図参照)



※SW の状態を白の四角で表しています。

# 電源の起動

## ● 起動前の確認

起動を始める前に、以下の項目を確認してください。

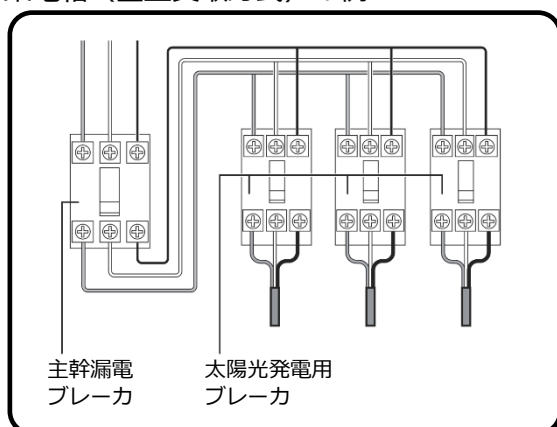
- 本装置の設置・電源配線が完了している。
- 接続しているパワーコンディショナの施工が完了している。  
 パワーコンディショナの施工については、パワーコンディショナの施工マニュアルをお読みください。
- パワーコンディショナが起動できる日射量がある。  
 初期設定の際はパワーコンディショナと通信を行うため、パワーコンディショナが起動できる日射量があるとき（早朝・夕方を除く、照度が安定している状態）に、本装置の初期設定を行ってください。

## ● 起動する

システムを起動する前に、以下の状態にしてください。

- 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）を**オン**にしてください\*
  - 太陽光発電用ブレーカを**オン**にしてください\*
  - パワーコンディショナの運転スイッチを**オン**にしてください\*
  - モバイルパック用主電源ブレーカを**オン**にしてください
- ※ パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

集電箱（全量買取方式）の例



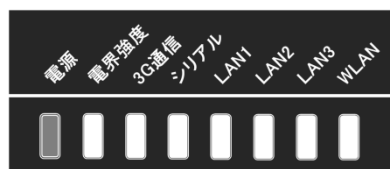
## 1 モバイルパック MC のサーキットプロテクタを ON にする

SV センサ、3G ルータがそれぞれ起動を開始します。

## 電源の起動(つづき)

### 2 3Gルータが起動したことを確認する

電源投入後、約 2 分程度で起動は完了します。



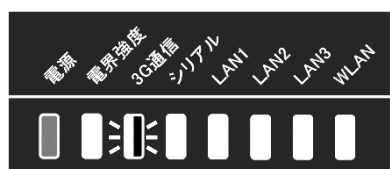
**① 電源投入時**

- ・電源ランプのみ緑点灯



**② 約 10 秒後**

- ・全てのランプが緑点灯



**③ 約 15 秒後**

- ・電源ランプは緑点灯
- ・3G 通信は赤点滅



**④ 約 1 分 30 秒後**

- ・電源ランプは緑点灯
- ・3G 通信ランプは緑点灯
- ・LAN3 ランプは緑点灯



**⑤ 約 2 分後 起動完了**

- ・電源ランプは緑点灯
- ・電界強度ランプは電波状況に応じた状態を表示
- ・3G 通信ランプは緑点灯
- ・LAN3 ランプは緑点灯

名称	状態	表示
電界強度	電界レベル5 (強)	緑点灯
	電界レベル4	緑点滅
	電界レベル3	橙点灯
	電界レベル2	橙点滅
	電界レベル1	赤点灯
	電界レベル0 (弱)	赤点滅

※電界レベル 1 以下の場合、安定して通信を行えません。モバイルパックの設置位置を変更してください。

## 電源の起動(つづき)

### 3 SV センサのランプ状態を確認する

電源投入後、約 3 分程度で起動は完了します。

ただし、ファームウェアアップデート(自動)が実施される場合、起動完了まで最大 10 分程度かかる場合があります。アップデートが実施される場合には、途中で電源を切らないでください。SV センサが故障する恐れがあります。



**① 電源投入時**

- ・ PWR、ST1、ST2 LED 点灯



**② 約 15 秒後**

- ・ 全 LED 消灯



**③ 約 20 秒後**

- ・ PWR LED 点灯



**④ 約 2 分後**

- ・ PWR、ST2 LED 点灯



**⑤ 約 3 分後**

- ・ PWR LED 点灯

SV センサのファームウェアアップデートがない場合は、上記の⑤で起動完了となります。アップデートが実施される場合は、引き続き⑥～⑨で状態が変化します。



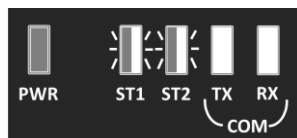
**⑥ 約 3 分 16 秒後**

- ・ PWR、ST1、ST2 LED 点灯

## 電源の起動(つづき)



- ⑦ 約 3 分 18 秒後  
 ・全 LED 消灯



- ⑧ 約 3 分 20 秒後  
 ・PWR LED 点灯  
 ・ST1、ST2 LED 点滅



- ⑨ 約 10 分後  
 ・PWR LED 点灯

SV センサのファームウェアアップデートが実施される場合は、上記の⑨で起動完了となります。

# 初期設定前の確認

---

## ●ご準備頂いた SV センサ設定用端末の確認

ご準備頂いた SV センサ設定用端末によって、設定方法が異なります。  
お手元の設定端末をご確認の上、対応する初期設定手順に進んでください。

- 「設置現場で Web 接続可能な情報端末(PC、スマートフォン、タブレット端末等)」をご準備頂いた場合
  - ➔「[初期設定～設定ツール\(ブラウザ版\)の場合～](#)」 P.31 へ
- 「最新版「SV センサ設定ツール」をインストールした Windows PC」をご準備頂いた場合
  - ➔「[初期設定～設定ツール\(ソフトウェア版\)の場合～](#)」 P.39 へ

# 初期設定～設定ツール(ブラウザ版)の場合～

## ●SV センサの初期設定を実施する

### 1 SV センサの DIP-SW1 の No.3 が ON であることを確認する

DIP-SW1 の No.3 が ON でない場合は、セラミックドライバ等を用いて ON に変更してください。



※SW の状態を白の四角で示しています。

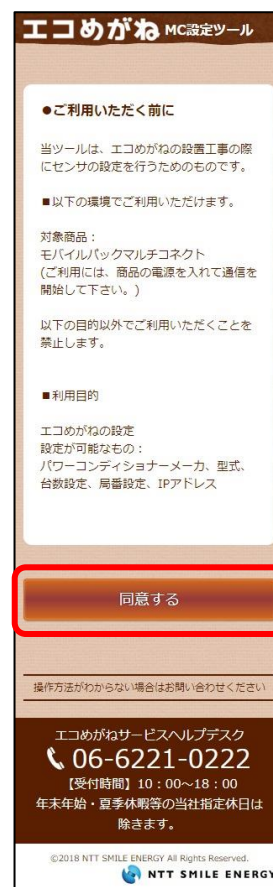
### 2 「SV センサ設定ツール(ブラウザ版)」にアクセスする

インターネット環境に繋がったPCもしくは、スマートフォン、タブレット端末から以下のURLにアクセスしてください。

<https://mc.eco-megane.jp>

### 3 「ご利用いただく前に」を確認する

「ご利用いただく前に」を読み、同意頂ける場合は「同意する」ボタンを押下してください。



## 初期設定～設定ツール(ブラウザ版)の場合～(つづき)

### 4 商品 ID とセンサーID を確認する

SVセンサ本体に貼り付けられた「商品IDラベル」、「センサーIDラベル」から11桁(ハイフンなし)の商品IDと12桁のセンサーIDを確認し、ログイン画面の商品ID欄及び、センサーID欄に入力してください。

エコめがね MC設定ツール

商品ID

センサーID

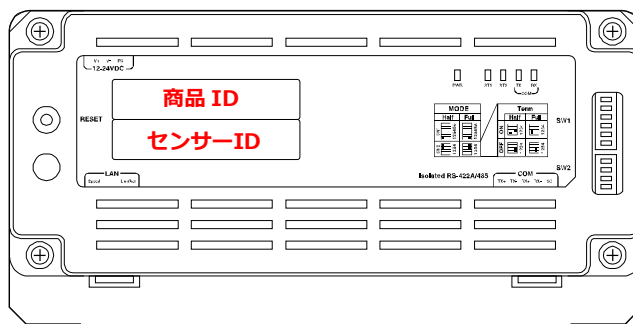
SVセンサ本体に記載してある商品IDとセンサーIDを入力して下さい。

ログイン

操作方法がわからない場合はお問い合わせください

エコめがねサービスヘルプデスク  
06-6221-0222  
【受付時間】 10:00～18:00  
年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。

©2018 NTT SMILE ENERGY All Rights Reserved.  
NTT SMILE ENERGY



<注意>

- ・パワーコンディショナー(以下、PCS)の施工及び設定、モバイルパックマルチコネクットの施工が完了した状態でSVセンサの設定を開始してください。
- ・SVセンサのファームウェアアップデートが実施されている場合は、SVセンサの設定を実施できません。ファームウェアアップデートが終了してからSVセンサの設定を実施してください。

### 5 SV センサにログインする

「ログイン」ボタンを押下し、センサシリアル、FWバージョンが表示され、PCS設定画面が表示されることを確認してください。

エコめがね MC設定ツール

商品ID

センサーID

SVセンサ本体に記載してある商品IDとセンサーIDを入力して下さい。

ログイン

操作方法がわからない場合はお問い合わせください

エコめがねサービスヘルプデスク  
06-6221-0222  
【受付時間】 10:00～18:00  
年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。

©2018 NTT SMILE ENERGY All Rights Reserved.  
NTT SMILE ENERGY

エコめがね MC設定ツール

ログイン

ログイン中です。  
しばらくお待ちください。

エコめがねサービスヘルプデスク  
06-6221-0222  
【受付時間】 10:00～18:00  
年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。

©2018 NTT SMILE ENERGY All Rights Reserved.  
NTT SMILE ENERGY

エコめがね MC設定ツール

商品ID

センサーID

センサシリアル: GIRKR27000727

FWバージョン: 1.37

PCS台数、PCSメーカー、PCS型式を選択し「登録」ボタンを押下して下さい。

▼PCS台数  
選択してください

▼PCSメーカー  
選択してください

戻る 登録

操作方法がわからない場合はお問い合わせください

エコめがねサービスヘルプデスク  
06-6221-0222  
【受付時間】 10:00～18:00  
年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。

©2018 NTT SMILE ENERGY All Rights Reserved.  
NTT SMILE ENERGY



## 初期設定～設定ツール(ブラウザ版)の場合～(つづき)

### 6 PCS 接続台数をドロップダウンリストから選択する

エコめがね MC設定ツール

・商品ID : [QRコード]  
 ・センサーID : [QRコード]  
 ・センサシリアル : GIRKR27000727  
 ・FWバージョン : 1.37

PCS台数、PCSメーカー、PCS型式を選択し  
 「登録」ボタンを押下してください。

▼PCS台数  
 選択してください

▼PCSメーカー  
 選択してください

戻る 登録

操作方法がわからない場合はお問い合わせください

エコめがねサービスヘルプデスク  
 ☎ 06-6221-0222  
 【受付時間】 10:00～18:00  
 年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は  
 除きます。

©2018 NTT SMILE ENERGY All Rights Reserved.  
 NTT SMILE ENERGY

### 7 PCS メーカーをドロップダウンリストから選択する

<注意>

選択された「PCSメーカー」によっては、IPアドレスの登録が必要な場合があります。

登録するIPアドレスの情報については、ケーブル加工マニュアルの内容をご参照ください。

・センサシリアル : GIRKR27000727  
 ・FWバージョン : 1.37

PCS台数、PCSメーカー、PCS型式を選択し  
 「登録」ボタンを押下してください。

▼PCS台数  
 3台

▼PCSメーカー  
 Huawei

▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	選択してください
	IPアドレス	入力不要です
PCS2	局番	2
	型式	選択してください
	IPアドレス	入力不要です
PCS3	局番	3
	型式	選択してください
	IPアドレス	入力不要です

戻る 登録

## 初期設定～設定ツール(ブラウザ版)の場合～(つづき)

### 8 PCSの型式をドロップダウンリストから選択する

<注意>

PCS1の型式を選択すると、自動でPCS1の型式と同じ型式がPCS2以下の型式欄にセットされます。

「局番」はPCSに設定した番号を選択してください。

<デフォルト値>

PCS1 = 局番1

PCS2 = 局番2

⋮

⋮

PCS9 = 局番9

選択された「PCSメーカー」によっては、IPアドレスの登録が必要な場合があります。登録するIPアドレスの情報については、ケーブル加工マニュアルの内容をご参照ください。

・センサシリアル : GIRKR27000727  
 ・FWバージョン : 1.37  
 PCS台数、PCSメーカー、PCS型式を選択し「登録」ボタンを押下してください。

▼PCS台数  
 3台

▼PCSメーカー  
 Huawei

▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/)
	IPアドレス	入力不要です
PCS2	局番	2
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/)
	IPアドレス	入力不要です
PCS3	局番	3
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/)
	IPアドレス	入力不要です

戻る 登録

### 9 「登録」ボタンを押下し、登録内容に問題なければポップアップ画面の「はい」ボタンを押下する

PCS1	局番	1
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/)
	IPアドレス	入力不要です
PCS2	局番	2
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/)
	IPアドレス	入力不要です
PCS3	局番	3
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/)
	IPアドレス	入力不要です

戻る 登録



登録確認

設定内容をSVセンサに登録しますがよろしいですか。

はい いいえ

【受付時間】 10:00~18:00  
 年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。

©2018 NTT SMILE ENERGY All Rights Reserved.  
 NTT SMILE ENERGY



反映状況

設定ファイル反映中

エコめがねサービスヘルプデスク  
 ☎ 06-6221-0222  
 【受付時間】 10:00~18:00  
 年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。

©2018 NTT SMILE ENERGY All Rights Reserved.  
 NTT SMILE ENERGY

## 初期設定～設定ツール(ブラウザ版)の場合～(つづき)

### 10 「設定ファイル反映完了」のポップアップ画面が表示されることを確認し、「次へ」ボタンを押下する

※通信テスト実行画面が表示されます。



以上で初期設定は完了です。  
引き続き次頁の「動作確認～設定ツール(ブラウザ版)の場合～」へ進んでください。

## 動作確認～設定ツール(ブラウザ版)の場合～

前頁の「初期設定～設定ツール(ブラウザ版)の場合～」から引き続き、モバイルパック MC の動作確認を行います。

<注意>

通信テストを実行する前に、通信ケーブルが正しく接続されており、PCSが連系運転状態であることを確認してください。

### 1 「通信テスト実行」ボタンを押下する



## 動作確認～設定ツール(ブラウザ版)の場合～(つづき)

### 2 「次へ」ボタンを押下して通信テスト実行結果を確認する

<注意>

SVセンサー-サーバ間通信テストが「OK」、各PCSの状態が「正常」で発電量が取得できていることを確認してください。

SVセンサーの設定を変更する場合は「戻る」ボタンを押下して、PCS初期設定画面へ戻ってください。



▼通信テスト実行結果

<SVセンサー-サーバ間通信テスト>  
OK

<SVセンサー-PCS間通信テスト>

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/10/12/15/17/20/23/24.5/28)
	IPアドレス	
	状態	正常
	発電量	10.0kW
PCS2	局番	2
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/10/12/15/17/20/23/24.5/28)
	IPアドレス	
	状態	異常
	発電量	0.0kW
PCS3	局番	3
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/10/12/15/17/20/23/24.5/28)
	IPアドレス	
	状態	異常
	発電量	0.0kW

戻る 閉じる

【POINT】

「NG」となる場合は、以下の内容を確認してください。

- ① 3Gルータが起動しているか。
- ② 電界強度ランプが電解レベル2(橙点滅)以上か。

<電界レベル>

- レベル5：緑点灯
- レベル4：緑点滅
- レベル3：橙点灯
- レベル2：橙点滅
- レベル1：赤点灯
- レベル0：赤点滅

【POINT】

状態が「異常」(「正常」以外の状態)や発電量が「0.0kW」や「空欄」となっている場合は、以下の内容を確認してください

- ① PCSが連系運転状態で正常に動作しているか。
- ② PCSと接続している通信ケーブルが正しく配線されているか。
- ③ SVセンサーに設定した接続台数、PCSメーカー、型式、局番、IPアドレスが接続しているPCSと合っているか。

【POINT】

状態が「正常」で正しく発電量が表示されている場合でも、PCSの動作状態を目視確認してください。

### 3 「閉じる」ボタンを押下し、Webブラウザを閉じる

## 動作確認～設定ツール(ブラウザ版)の場合～(つづき)

### 4 SV センサのランプ状態を確認する

SV センサのランプが以下の状態であることを確認してください。



PWR：緑色点灯  
 ST1：緑色点滅  
 ST2：消灯  
 TX：橙色点滅 ※  
 RX：橙色点滅

※ 接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります

<注意>

ST2 が赤点灯している場合、SV センサが 3G ルータ、NSE サーバと通信できていません。

以下の 2 点を確認してください。

- ・ 3G ルータが正常動作しているか
- ・ 誤って、SV センサ-3G ルータ間の LAN ケーブルを外していないか

### 5 必要に応じてパワーコンディショナ本体の運転スイッチ、開閉器を操作する<sup>※</sup>

施工完了後、ご希望に応じて、運転スイッチ、開閉器を操作してください。

※ パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナの操作を行ってください。

#### ● 発電所の運転を止める場合

モバイルパックの主電源用ブレーカ、接続箱の開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オフ**にしてください。

#### ● そのまま発電所の運用を開始する場合

モバイルパックの主電源用ブレーカ、接続箱の開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オン**のままにしてください。

# 初期設定～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～

## ●SV センサの初期設定を実施する

### 1 SV センサの DIP-SW1 の No.3 が ON であることを確認する。

DIP-SW1 の No.3 が ON でない場合は、セラミックドライバ等を用いて ON に変更してください。



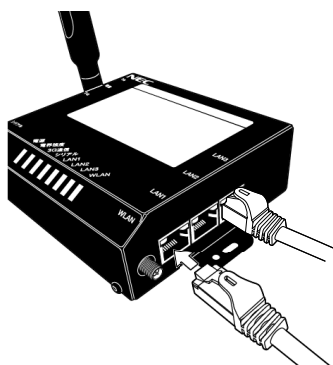
※SW の状態を白の四角で示しています。

### 2 設定用にご準備頂いた PC と 3G ルータを LAN ケーブルで接続する

設定用 PC に LAN ケーブルをつないでください。

同様に LAN ケーブルの他方を 3G ルータの LAN1 もしくは LAN2 のポートにつないでください。

※以下は 3G ルータの LAN1 ポートに LAN ケーブルをつなぐ場合のイメージ図です。



### 3 設定用 PC に解凍した「SV センサ設定ツール」を起動する

「SV センサ設定ツール」フォルダにある、「SV センサ設定ツール.exe」をダブルクリックしてください。

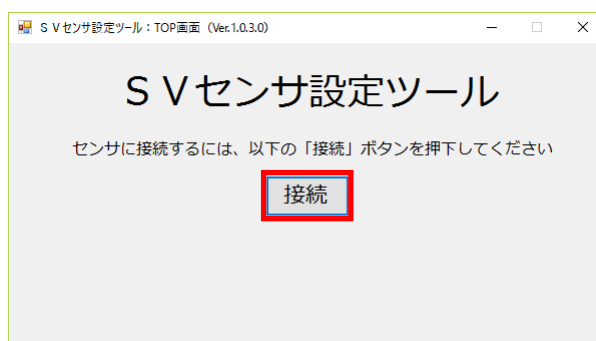
### 4 「接続」ボタンを押す

SV センサ設定ツールの TOP 画面が表示されたら、「接続」ボタンを押してください。

※必ず 3G ルータの起動を確認(P.27)してから「接続」ボタンを押してください。

※「センサに接続できません」のポップアップ画面が表示された場合…

SV センサ設定ツールを終了してから、SV センサの「RESET」スイッチを押し、再度手順 1～4 を実施してください。



## 初期設定～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～(つづき)

### 5 SV センサの状態を確認する

SV センサ設定ツール上に SV センサのシリアル No.とファームウェアバージョン(以降ファームウェアをFW と記載する)が表示されます。

※センサシリアル、FW バージョンが表示されない場合…

SV センサ設定ツールを終了してから、SV センサの「RESET」スイッチを押し、再度手順2～4を実施してください。

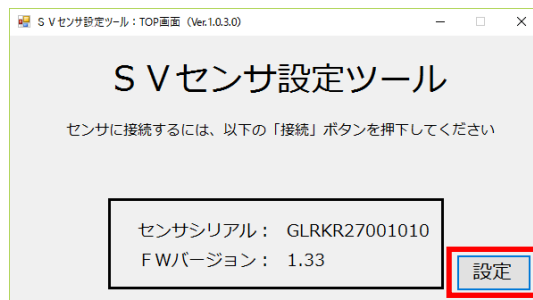
※接続できませんでしたが表示される場合…

「OK」ボタン押下後、再度、「接続」ボタンを押下してください。

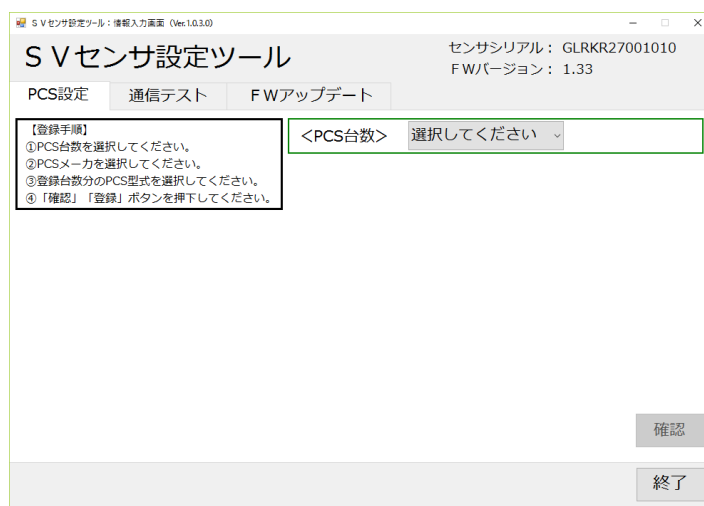
繰り返し表示される場合は、一旦 SV センサ設定ツールを終了し、設定 PC の LAN ケーブルを抜き差ししてから、設定ツールを再度起動してください。



### 6 「設定」ボタンを押す



### 7 「PCS 設定」画面が表示される

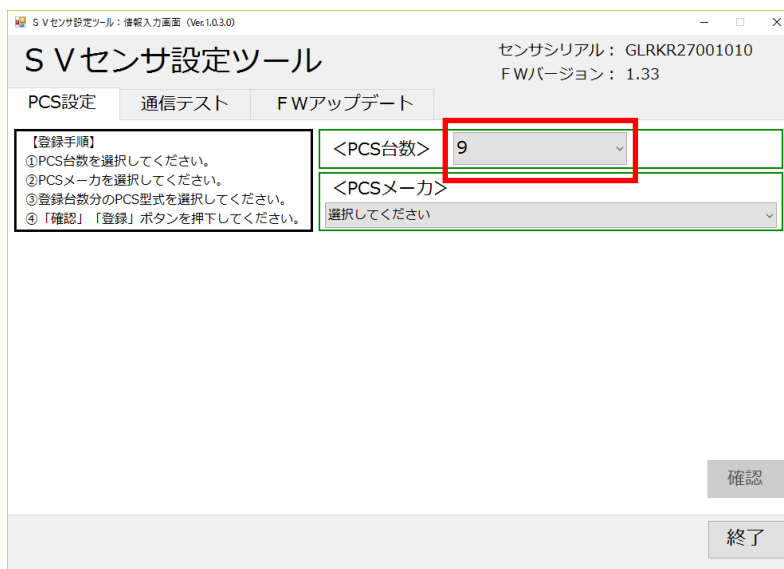




## 初期設定～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～(つづき)

### 8 「<PCS 台数>」のドロップダウンリストから SV センサに接続するパワーコンディショナの台数を選択する

SV センサに接続できるパワーコンディショナの台数は最大 9 台です。(以降は 9 台での設定例です。) ただし、パワーコンディショナ、周辺機器の仕様にて台数が制限されている場合はその仕様に従います。



### 9 「<PCS メーカー>」のドロップダウンリストから、パワーコンディショナの メーカーを選択する



## 初期設定～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～(つづき)

### 10 <PCS 型式>にて、パワーコンディショナの局番、型式を選択する

ドロップダウンリストから、パワーコンディショナの局番、型式を選択してください。

手順 8 で設定した PCS 台数に応じて、局番は自動で設定されます。

仮にパワーコンディショナ側の局番を「1」～「9」以外で設定された場合、

パワーコンディショナ側の設定に合わせて、SV センサ設定ツール側の局番を変更いただく必要があります。

<注意>

選択された<PCS メーカー>によっては、IP アドレスの登録が必要な場合があります。

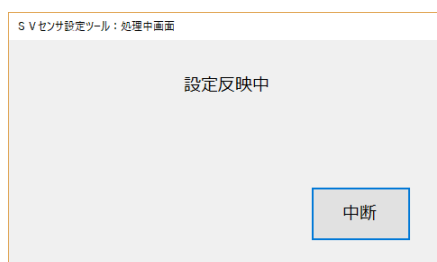
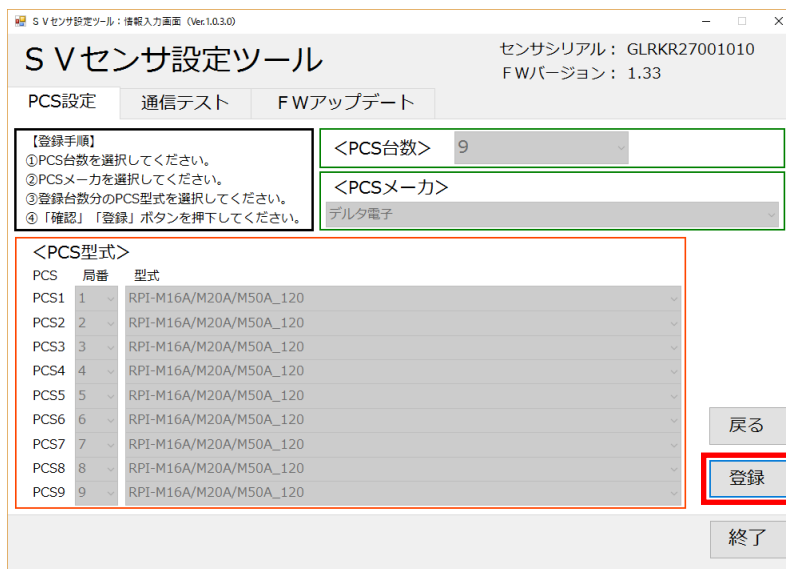
登録する IP アドレスの情報については、ケーブル加工マニュアルの内容をご参照ください。

### 11 「確認」ボタンを押す

## 初期設定～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～(つづき)

### 12 登録内容に誤りがないことを確認し、「登録」ボタンを押す

SV センサへ設定内容を送信します。送信中は“設定反映中”のポップアップが表示されています。

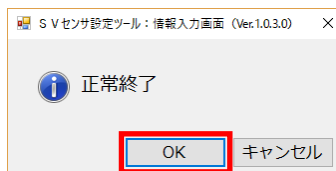


### 13 “正常終了”ポップアップ画面の「OK」ボタンを押す

「OK」ボタンを押すと、「通信テスト」画面に自動的に切り替わります。  
⇒次の項目へ

※「異常終了」のポップアップ画面が表示される場合…

「終了」ボタンを押し、SV センサ設定ツールを終了してから、再度手順 3～13 を実施してください。



以上で初期設定は完了です。  
引き続き次頁の「動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～」へ進んでください。

# 動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～

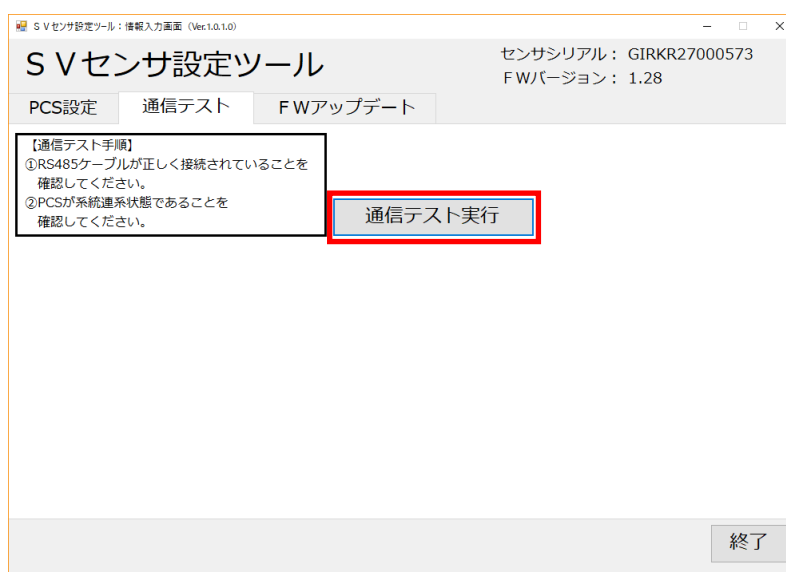
前頁の「初期設定～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～」から引き続き、モバイルパックMCの動作確認を行います。

## 1 通信ケーブルの接続状態、パワーコンディショナの運転状態を確認する

パワーコンディショナ-SV センサ間、パワーコンディショナ間の通信ケーブルが正しく接続され、パワーコンディショナが系統連系状態であることを確認してください。

## 2 「通信テスト実行」ボタンを押す

初期設定完了後、SV センサ設定ツール側で自動的に“通信テスト”画面に遷移しています。



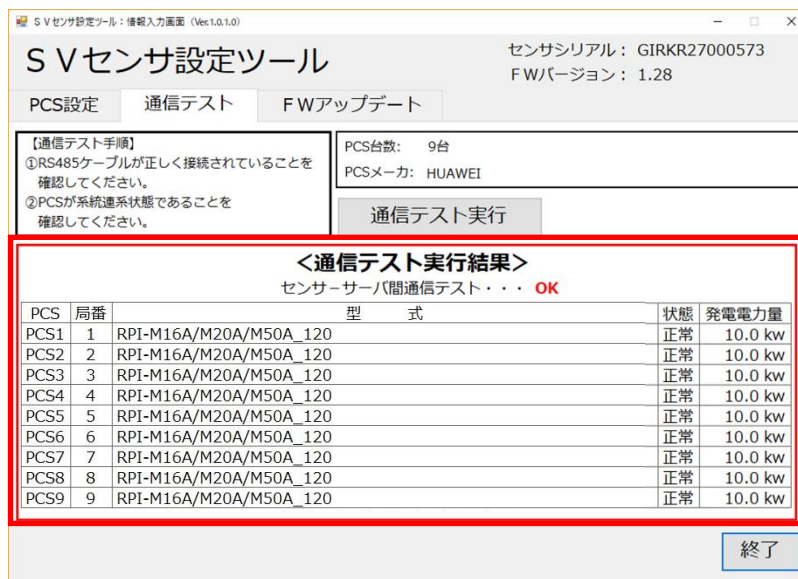
「通信テスト実行」ボタンを押すと、“データ送信テスト実行中”ポップアップが表示されるので、ポップアップが消えるまでしばらくお待ちください。



## 動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～(つづき)

### 3 <通信テスト実行結果>の内容を確認する

センサーサーバ間通信テストが OK であること、PCS 1～9 の状態が正常であることを確認してください。



<通信テスト結果>欄には以下の内容が表示されます。

#### ① センサーサーバ間通信テスト

SV センサとスマイルエナジーのサーバ間の通信テストの結果を示しています。

**OK** : 正常に動作しています。

**NG** : データ送信に失敗しました。

3G ルータが正常動作しているか確認してください。

電界強度ランプがレベル 2(橙色点滅)以上であることを確認してください。

問題がなければ、再度「通信テスト実行」ボタンを押してください。

#### ② 状態

SV センサとパワーコンディショナの通信状態、パワーコンディショナのエラー発生状況を確認した結果を示しています。

**正常** : 正常に動作しています。

**異常** : パワーコンディショナと SV センサ間の通信、もしくはパワーコンディショナに異常が発生しています。

以下の内容を確認し、問題を解消してから再度「通信テスト実行」ボタンを押してください。

– パワーコンディショナ-SV センサ間、パワーコンディショナ間の通信ケーブルが正しく接続されているか

– SV センサ設定ツールで設定した内容(設置台数、メーカー、型式、局番)が、設備の状況と一致しているか

#### ③ 発電量

発電電力量は「通信テスト実行」ボタン押下時にパワーコンディショナから取得される情報です。パワーコンディショナの発電量表示とおおよそ同じ値であることを確認してください。

※ ツール上に表示される値はボタン押下後、継続的に更新されるものではありません。

このため、発電量が急激に変化するような日照条件では、ツールに表示される値とパワーコンディショナに表示される値にずれが生じる場合があります。

## 動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～(つづき)

### 4 設定ツールの「終了」ボタンを押す

### 5 3G ルータと設定用 PC 間の LAN ケーブルを外す

### 6 SV センサのランプ状態を確認する

SV センサのランプが以下の状態であることを確認してください。



PWR：緑色点灯  
 ST1：緑色点滅  
 ST2：消灯  
 TX：橙色点滅 ※  
 RX：橙色点滅

※ 接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります

<注意>

ST2 が赤点灯している場合、SV センサが 3G ルータ、NSE サーバと通信できていません。

以下の 2 点を確認してください。

- ・ 3G ルータが正常動作しているか
- ・ 誤って、SV センサ-3G ルータ間の LAN ケーブルを外していないか

### 7 必要に応じてパワーコンディショナ本体の運転スイッチ、開閉器を操作する<sup>※</sup>

施工完了後、ご希望に応じて、運転スイッチ、開閉器を操作してください。

※ パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナの操作を行ってください。

#### ● 発電所の運転を止める場合

モバイルパックの主電源用ブレーカ、接続箱の開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オフ**にしてください。

#### ● そのまま発電所の運用を開始する場合

モバイルパックの主電源用ブレーカ、接続箱の開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オン**のままにしてください。

## 取扱方法

# 設定確認・編集～設定ツール(ブラウザ版)の場合～

初期設定完了後は、以下の手順でSVセンサの設定確認・編集を行うことができます。

## 1 Web ブラウザからSVセンサにログインする

インターネット環境に繋がったPCもしくは、スマートフォン、タブレット端末から以下のURLにアクセスしてください。

<https://mc.eco-megane.jp>

SVセンサの設定を実施済みの場合、「ログイン」ボタンを押下すると遷移先確認画面が表示されます。



## 2 SVセンサの設定確認

「設定情報の確認・編集」ボタンを押下し、設定情報を確認する。



## 設定確認・編集～設定ツール(ブラウザ版)の場合～(つづき)

### 3 設定情報の確認画面にて「編集」ボタンを押下する

設定情報をご確認ください。  
設定情報を変更する場合は「編集」ボタンを押下してください。

▼PCS台数  
3台

▼PCSメーカー  
Huawei

▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/10/12/15/17/20/23/24.5/28)
	IPアドレス	
PCS2	局番	2
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/10/12/15/17/20/23/24.5/28)
	IPアドレス	
PCS3	局番	3
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/10/12/15/17/20/23/24.5/28)
	IPアドレス	

戻る **編集**

### 4 変更したい箇所の編集を行い、「登録」ボタンを押下する

PCS台数、PCSメーカー、PCS型式を選択し「登録」ボタンを押下してください。

▼PCS台数  
3台

▼PCSメーカー  
Huawei

▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/
	IPアドレス	入力不要です
PCS2	局番	2
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/
	IPアドレス	入力不要です
PCS3	局番	3
	型式	SUN2000-8-28KTL(8/
	IPアドレス	入力不要です

戻る **登録**

#### 【POINT】

編集したい項目を選択し、変更してください。  
変更後は、「登録」ボタンを押下してください。

### 5 登録内容確認後、Web ブラウザを閉じる



## 設定確認・編集～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～

初期設定完了後は、以下の手順で SV センサの設定確認・編集を行うことができます。

- 1 設定用にご準備頂いた PC と 3G ルータを LAN ケーブルで接続する (P.39)
- 2 設定用 PC に解凍した「SV センサ設定ツール」を起動する
- 3 「接続」ボタンを押す (P.39)
- 4 「設定」ボタンを押す (P.40)
- 5 「PCS 設定」画面が表示されるので、設定内容を確認する
- 6 設定内容を変更する
- 7 「確認」ボタンを押す
- 8 登録内容に誤りがないことを確認し、「登録」ボタンを押す
- 9 “正常終了”ポップアップ画面の「OK」ボタンを押す
- 10 動作確認を行う (P.52)

# 動作確認～設定ツール(ブラウザ版)の場合～

初期設定完了後は、以下の手順でシステムの動作確認を実施することができます。  
 パワーコンディショナが起動できる日射量があるとき（早朝・夕方を除く、照度が安定している状態）に、動作確認を行ってください。

## 1 通信ケーブルの接続状態、パワーコンディショナの運転状態を確認する

パワーコンディショナ-SV センサ間、パワーコンディショナ間の通信ケーブルが正しく接続され、パワーコンディショナが系統連系運転状態であることを確認してください。

## 2 SV センサの状態を確認する

SV センサのランプが以下の状態であることを確認してください。  
 ※以下の状態でない場合、設置施工、SV センサの初期設定が完了していないか、3G ルータの動作状態が不安定になっていることが考えられます。該当する項目を確認して、問題を解消してください。



PWR：緑色点灯  
 ST1：緑色点滅  
 ST2：消灯  
 TX：橙色点滅 ※  
 RX：橙色点滅

※ 接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります

## 3 SV センサにログインする

インターネット環境に繋がったPCもしくは、スマートフォン、タブレット端末から以下のURLにアクセスしてください。

<https://mc.eco-megane.jp>

SVセンサの設定を実施済みの場合、商品ID、センサーID入力後、「ログイン」ボタンを押下するとメニュー画面が表示されます。



## 動作確認～設定ツール(ブラウザ版)の場合～(つづき)

### 4 「通信テストを行う」ボタンを押下する

「通信テストを行う」ボタンを押下し、通信テストを実施する。



### 5 通信テスト実行結果の内容を確認する (P.37)

### 6 「閉じる」ボタンを押下し、Web ブラウザを閉じる

# 動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～

初期設定完了後は、SVセンサ設定ツールをインストールしたPCを使って、システムの動作確認を実施することができます。

パワーコンディショナが起動できる日射量があるとき（早朝・夕方を除く、照度が安定している状態）に、動作確認を行ってください。

## 1 通信ケーブルの接続状態、パワーコンディショナの運転状態を確認する

パワーコンディショナ-SVセンサ間、パワーコンディショナ間の通信ケーブルが正しく接続され、パワーコンディショナが系統連系運転状態であることを確認してください。

## 2 SVセンサの状態を確認する

SVセンサのランプが以下の状態であることを確認してください。

※以下の状態でない場合、設置施工、SVセンサの初期設定が完了していないか、3Gルータの動作状態が不安定になっていることが考えられます。該当する項目を確認して、問題を解消してください。



PWR：緑色点灯  
ST1：緑色点滅  
ST2：消灯  
TX：橙色点滅 ※  
RX：橙色点滅

※ 接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります

## 3 設定用にご準備頂いたPCと3GルータをLANケーブルで接続する(P.39)

## 4 設定用PCに解凍した「SVセンサ設定ツール」を起動する

## 5 「接続」ボタンを押す(P.39)

## 6 「設定」ボタンを押す(P.40)

## 7 「PCS設定」画面が表示されるので、「通信テスト」タブを押す

## 8 パワーコンディショナが動作している状態で、「通信テスト実行」ボタンを押す(P.44)

## 9 <通信テスト実行結果>の内容を確認する(P.45)

## 10 設定ツールの「終了」ボタンを押す

## 11 3Gルータと設定用PC間のLANケーブルを外す

# パワーコンディショナを交換・追加する

パワーコンディショナを交換・追加する場合は、お客様にて設定作業を行っていただく必要があります。

<注意>

モバイルパック MC は、製品による制約を受けない限り最大 9 台までのパワーコンディショナを接続することができます。

※ただし、パワーコンディショナ、周辺機器の仕様にて台数が制限されている場合、その仕様に従います。

## 1 交換・追加するパワーコンディショナのユニット No.を設定する

パワーコンディショナを交換・追加する場合、新たに設置するパワーコンディショナの局番設定を行います。

### ■ 交換する場合

パワーコンディショナを交換する場合は、置き換えで設置したパワーコンディショナに、交換前のパワーコンディショナと同じ局番を設定してください。

(例) 3 台のシステム構成で 2 台目を交換する場合

接続台数	局番	
	交換前	交換後
パワーコンディショナ 1 台目	1	1
パワーコンディショナ 2 台目	2	2
パワーコンディショナ 3 台目	3	3

交換前のパワーコンディショナと同じ局番を設定する

### ■ 追加する場合

パワーコンディショナを新たに追加する場合は、追加設置したパワーコンディショナに新たな局番を設定してください。

(例) 3 台のシステム構成で 4 台目を追加する場合

接続台数	局番	
	交換前	交換後
パワーコンディショナ 1 台目	1	1
パワーコンディショナ 2 台目	2	2
パワーコンディショナ 3 台目	3	3
(追加) パワーコンディショナ 4 台目	-	4

新たな局番を設定する

## 2 必要に応じて設定・動作確認作業を行う

### ■ 交換する場合

⇒ 「動作確認～設定ツール(ブラウザ版)の場合～(P.50)」

or

「動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～(P.52)」へ

### ■ 追加する場合

⇒ 「設定確認・編集～設定ツール(ブラウザ版)の場合～(P.47)」、

「動作確認～設定ツール(ブラウザ版)の場合～(P.50)」

or

「設定確認・編集～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～(P.49)」、

「動作確認～設定ツール(ソフトウェア版)の場合～(P.52)」へ

# ファームウェアを更新する

SV センサのファームウェアを現地で手動更新することができます。  
ファームウェアは自動的に更新されますので、通常は手動更新を行う必要はありません。

- ファームウェア更新を手動で実施するためには、SV センサ設定用ツールをインストールした Windows PC、LAN ケーブル、ファームウェアをご準備いただく必要があります。
- ファームウェア更新中は SV センサの電源を落とさないでください。  
※電源を落とすと、正常に動作しなくなる恐れがあります。

## ●更新ファームウェアの入手

### 1 ファームウェアを入手する

エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページより、最新のファームウェアをダウンロードしてください。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

### 2 SV センサ設定ツールをインストールした PC に、 入手したファームウェア (.bin ファイル) を保存する

### 3 設定用 PC と 3G ルータを LAN ケーブルで接続する (P.39)

### 4 「SV センサ設定ツール」を起動する

### 5 「接続」ボタンを押し、SV センサの状態を確認する (P.39)

### 6 設定ツール上の「FW バージョン」とお持ちのファームウェアバージョンを確認する

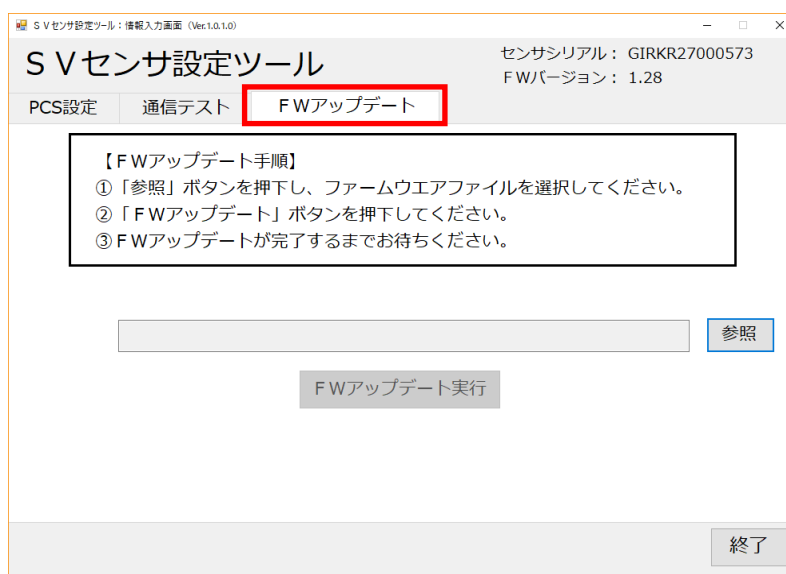
設定ツール上で表示されている「FW バージョン」とお持ちのファームウェアのバージョン(ファイル名に記載)を確認してください。お持ちのファームウェアのバージョンの方が古い場合、ファームウェアの更新を中止してください。

古いファームウェアで更新を行いますと、SV センサが正常に動作しなくなる恐れがあります。

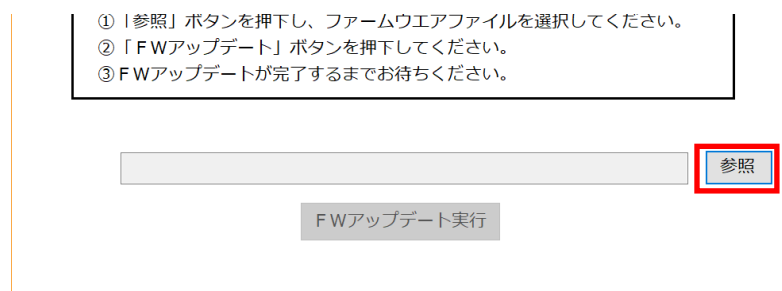
### 7 「設定」ボタンを押し (P.40)

## ファームウェアを更新する(つづき)

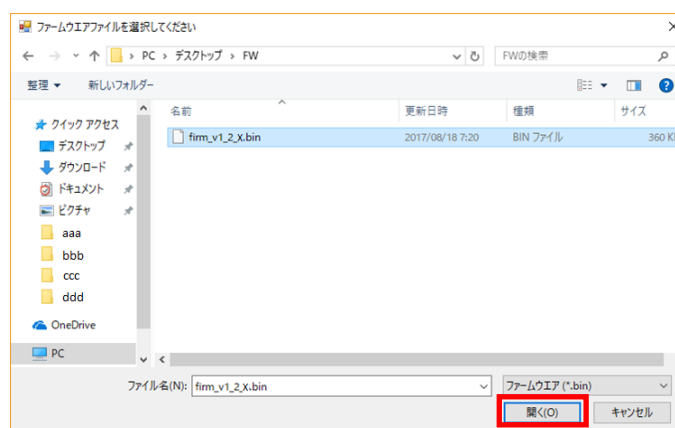
### 8 「FW アップデート」タブを押す



### 9 「参照」ボタンを押す



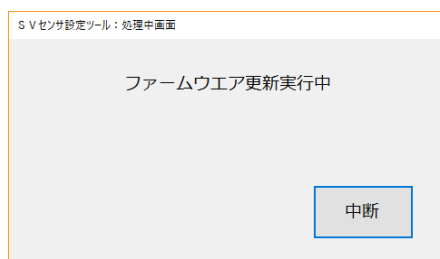
### 10 ポップアップ画面にて、保存しておいた“.bin ファイル”を選択後、「開く」ボタンを押す



# ファームウェアを更新する(つづき)

## 11 「FW アップデート実行」ボタンを押す

FW アップデート実施後、SV センサは自動で再起動を実施します。  
SV センサ設定ツールに従い、「ファームウェア更新実行中」ポップアップ画面が消えるまで、  
数分間そのままの状態でお待ちください。

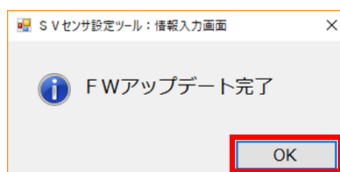




## ファームウェアを更新する(つづき)

---

### 12 “FW アップデート完了”ポップアップ画面の「OK」ボタンを押す



### 13 設定ツール画面の右上の表示を確認し、FW のバージョンが更新されていることを確認する

### 14 終了ボタンを押す

### 15 3G ルータと設定用 PC 間の LAN ケーブルを外す

# 本体を取り外す

以下の手順に従って、モバイルパックマルチコネクトを取り外してください。

## 1 発電設備を停止する

モバイルパックを取り外す前に、以下の状態にしてください。

- 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）が**オフ**にしてください※
  - 太陽光発電用ブレーカを**オフ**にしてください※
  - パワーコンディショナの運転スイッチを**オフ**にしてください※
  - モバイルパック用主電源ブレーカを**オフ**にしてください
- ※ パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

## 2 モバイルパック MC のサーキットプロテクタを OFF にする

## 3 モバイルパック MC に接続されている配線を外す


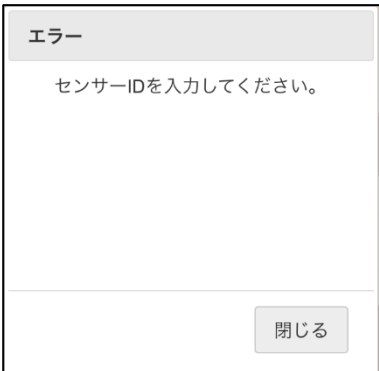
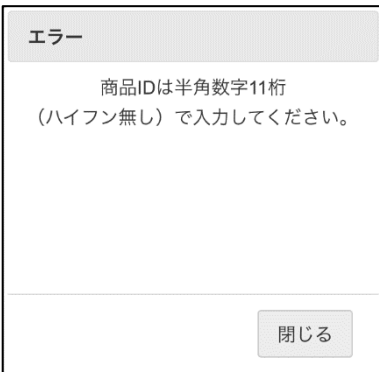
端子台にねじ止めされている電源配線、通信線、設置線等の配線を外してください。

## 4 モバイルパック本体を、設置場所から取り外す

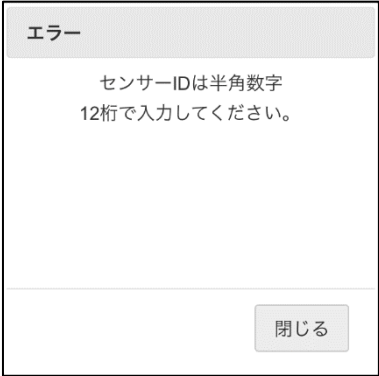
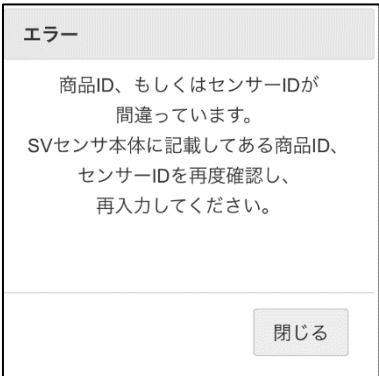
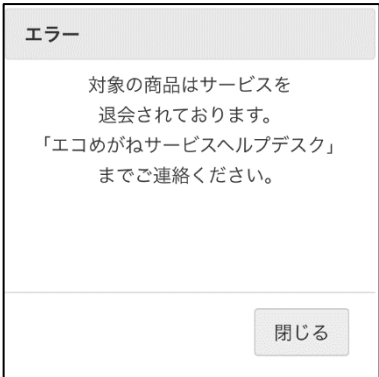
## その他

# 設定ツール画面 こんな時には？

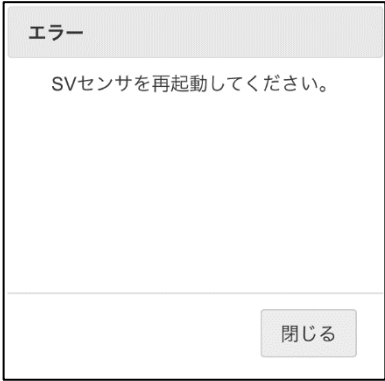
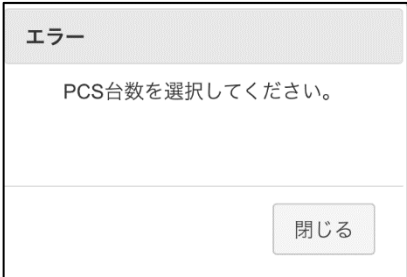
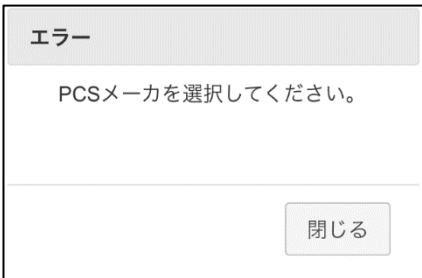
### ●SV センサ設定ツール(ブラウザ版)

No.	症状	対処方法
1	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>商品ID欄に商品IDが入力されておられません。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、商品ID欄に商品ID（ハイフン無し11桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
2	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>センサーID欄にセンサーIDが入力されておられません。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、センサーID欄にセンサーID（12桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
3	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>商品ID欄に入力された商品IDが11桁未満、もしくは、半角英数以外の入力があります。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、商品ID欄に商品ID（ハイフン無し11桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>

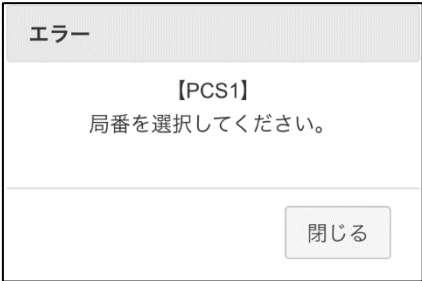
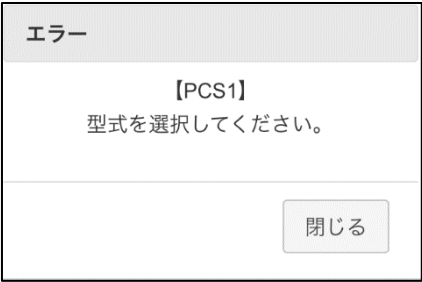
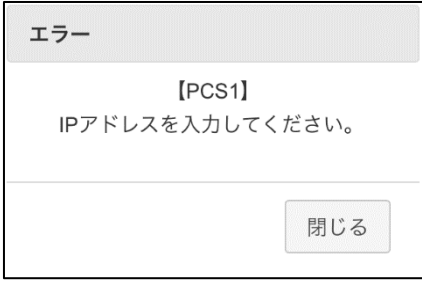
## 設定ツール画面 こんな時には？（つづき）

No.	症状	対処方法
4	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>センサーID欄に入力されたセンサーIDが12桁未満、もしくは、半角英数以外の入力があります。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、センサーID欄にセンサーID（12桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
5	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>商品IDとセンサーIDの組み合わせが間違っている可能性があります。 SVセンサ本体に記載している商品ID、センサーIDを再度ご確認ください。 確認後、エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻り、商品ID、センサーIDを入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
6	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>エコめがねサービスを退会されているため、SVセンサの設定を実施できません。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下してログイン画面に戻ってください。ログイン画面下部にある電話番号を押下し、「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。</p>

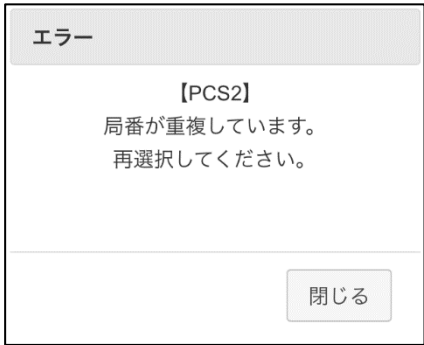
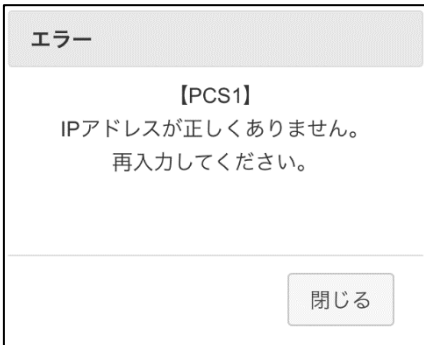
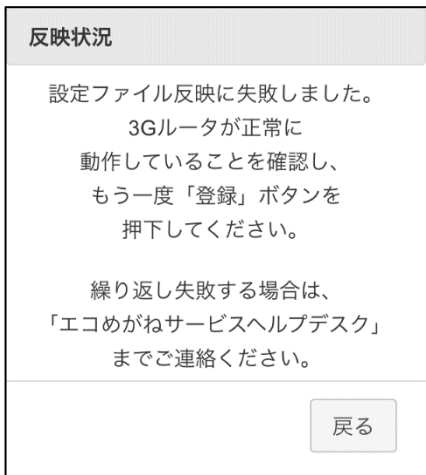
## 設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

No.	症状	対処方法
7	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>SVセンサに正常にアクセスできませんでした。 SVセンサの「RESET」ボタンを押下して、SVセンサを再起動してください。 SVセンサの再起動完了後、「閉じる」ボタンを押下してログイン画面に戻り、再度ログインしてください。</p> <p>ログイン時、何度も発生する場合は、画面下部にある電話番号を押下し、「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。</p>
8	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「PCS台数」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「PCS台数」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
9	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「PCSメーカー」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「PCSメーカー」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>

## 設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

No.	症状	対処方法
10	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「局番」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「局番」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
11	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「型式」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「型式」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
12	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「IPアドレス」が未入力です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「IPアドレス」を入力し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>

## 設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

No.	症状	対処方法
13	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「局番」が重複しています。エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。「局番」を重複しないように選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
14	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「IPアドレス」が半角英数入力ではない、もしくは、正しく入力されておりません。エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。正しい「IPアドレス」を入力し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
15	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>3Gルータが正常に動作していない可能性があります。3GルータのLEDランプ状態を確認してください。正常に動作している場合は、エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻り、再度「登録」ボタンを押下してください。</p> <p>何度も発生する場合は、画面下部にある電話番号を押下し、「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。</p>

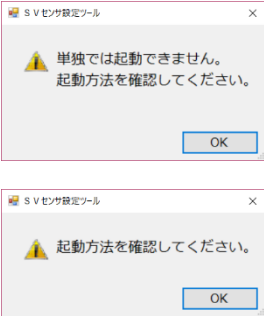
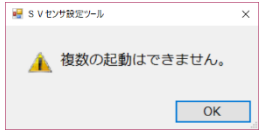
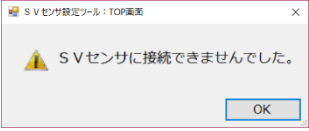
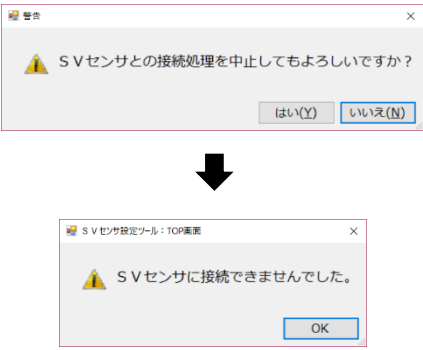
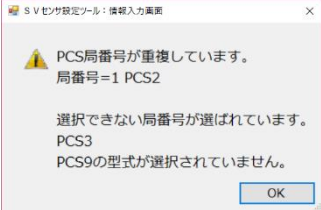
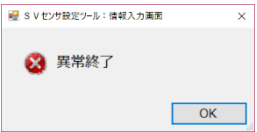
## 設定ツール画面 こんな時には？（つづき）

No.	症状	対処方法
16	通信テストにて、<SVセンサ-サーバ間通信テスト>の結果が「NG」となる。	3GルータのLEDランプ状態を確認してください。 正常に動作している場合は、再度「通信テスト実行」ボタンを押下してください。
17	通信テストにて、<SVセンサ-PCS間通信テスト>の状態が「異常」、「空欄」もしくは「-」となる。	通信ケーブルが正しく配線・接続されているか確認してください。また、SVセンサの設定内容（接続台数・PCSメーカー・型式・局番・IPアドレス）を確認してください。 通信ケーブルが正しく配線されており、SVセンサの設定に誤りがない場合は、再度「通信テスト実行」ボタンを押下してください。
18	誤ったPCS情報を設定してしまった。	<p>【通信テスト画面の場合】 「戻る」ボタンを押下してPCS情報登録画面に戻り、正しい情報を登録し直してください。</p> <p>【ログアウト済みの場合】 P.47 「設定確認・編集～設定ツール(ブラウザ版)の場合～」の通り、PCS情報を編集して、正しい情報を登録し直してください。</p>

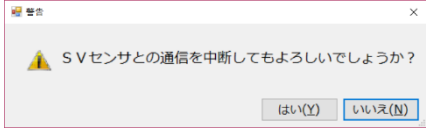
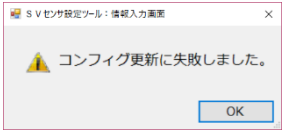
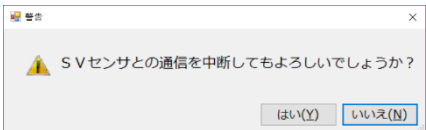
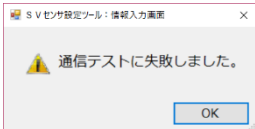
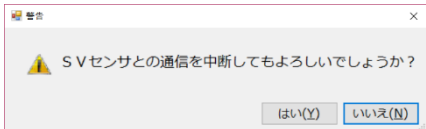
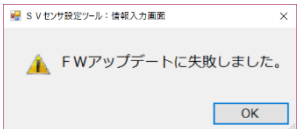
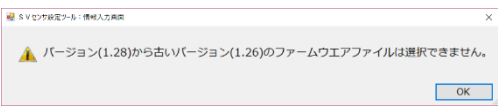


# 設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

## ●SV センサ設定ツール

No.	症状	対処方法
1		<p>誤って、「SV_SensorSettingTool.exe」を起動した場合に表示されます。 OK を押した後、「SV センサ設定ツール.exe」をダブルクリックして起動してください。</p>
2		<p>設定ツールを二重に起動しようとした場合に表示されます。 OK ボタンを押して、すでに起動している設定ツールを使用してください。</p>
3		<p>「OK」ボタン押下後、再度、「接続」ボタンを押下してください。 繰り返し表示される場合は、一旦設定ツールを終了し、設定 PC の LAN ケーブルを抜き差ししてから、設定ツールを再度起動してください。</p>
4		<p>設定ツール操作中に表示されるポップアップボックスで「中断」を押下した場合に表示されます。 設定を進める場合は「いいえ」を押下してください。</p> <p>(「はい」を押下した場合) 左のポップアップ画面が表示されます。「OK」を押下してください。</p>
5		<p>局番に使用できない番号を選択したり、重複、型式が未選択の場合に表示されます。 「OK」ボタンを押下後、正しく設定作業を行ってください。</p>
6		<p>PCS 台数、メーカー、局番、型式の登録作業に失敗したときに表示されます。 一旦設定ツールを終了し、再起動してから登録作業をやり直してください。</p>

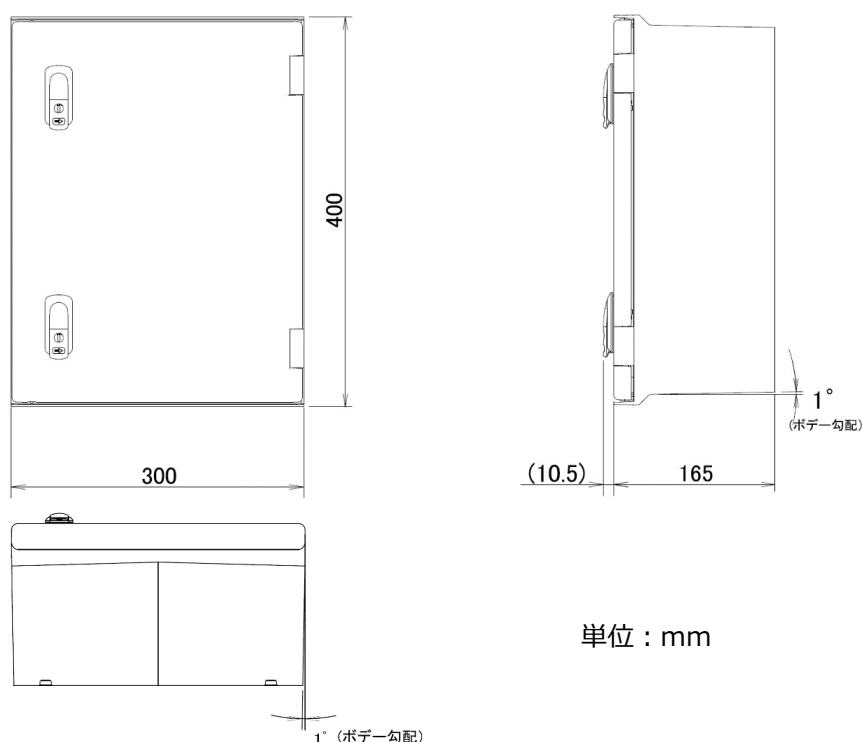
## 設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

No.	症状	対処方法
7	 <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p>SV センサの設定登録中、データ送信テスト実行中、FW 更新実行中、再起動実施中に表示されるポップアップ画面で「中断」を押した場合に表示されます。設定を続ける場合は「いいえ」を押下してください。中断される場合は「はい」を押下してください。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(「はい」を押下した場合) 左のポップアップ画面が表示されます。「OK」を押下し、再度設定登録を行ってください。 「中断」を押下していない場合に、表示される場合は設定PCのファイアウォールの設定を変更する必要があります。「SV センサ設定ツールインストールマニュアル」を参照して、設定用PCのファイアウォール設定を行ってください。</p>
8	 <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p>データ送信テスト実行中に表示されるポップアップ画面で「中断」を押した場合に表示されます。設定を続ける場合は「いいえ」を押下してください。中断される場合は「はい」を押下してください。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(「はい」を押下した場合) 左のポップアップ画面が表示されます。「OK」を押下し、再度データ送信テストを実施してください。</p>
9	 <p style="text-align: center;">↓</p> 	<p>FW 更新実行中、再起動実施中に表示されるポップアップ画面で「中断」を押した場合に表示されます。設定を続ける場合は「いいえ」を押下してください。中断される場合は「はい」を押下してください。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(「はい」を押下した場合) 左のポップアップ画面が表示されます。「OK」を押下し、はじめからFW アップデートをやり直してください。</p>
10		<p>FW アップデート実施時に、現在動作中のバージョンより、古いバージョンファイルを選択した場合に表示されます。 「OK」を押下して、FW アップデート作業を中止してください。 最新のFWは、「エコめがね 販売会社さま向けダウンロードページ」から入手してください。 <a href="https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/">https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/</a></p>

# 電力会社への申請書式

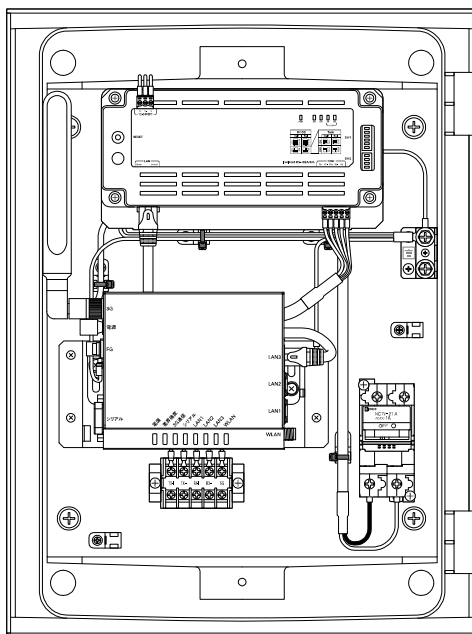
## 仕様について

項目	仕様
■型式	ZMPMCD
■使用周囲温度	-10 ~ +60 ℃
■保存温度	-20 ~ +60 ℃
■使用周囲湿度	相対湿度 20 ~ 80 % (ただし結露または氷結しないこと)
■保存湿度	相対湿度 20 ~ 85 % (ただし結露または氷結しないこと)
■電源	単相 AC100V/200V
■消費電力 [W]	最大 14.7W ※電源ユニットでの ZMPMCD 全体の消費電力
■入力容量 [VA]	最大 34.0VA ※電源ユニットでの ZMPMCD 全体の入力容量
■保護構造	IP65 相当
■質量	6kg 以下
■外形寸法	突起部除く 幅 300×奥行 165×高さ 400 mm (突起部含む 幅 300×奥行 175.5×高さ 400 mm)

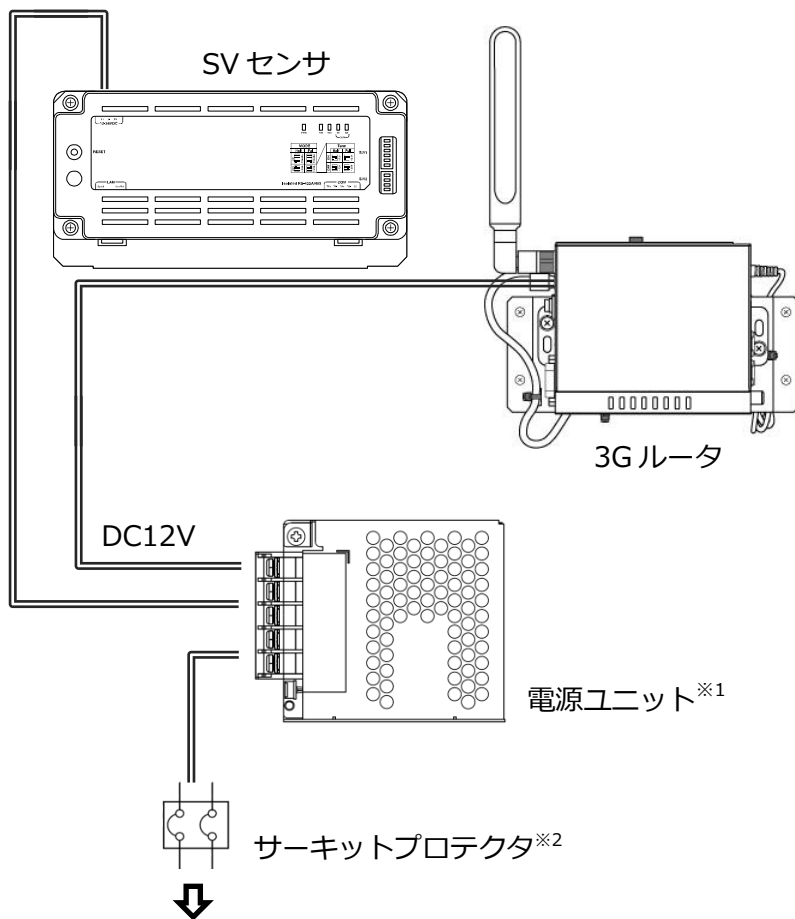


# 電力会社への申請書式(つづき)

## 組込図



## 接続図



※1

### 電源ユニット

型式：PLA30F-12  
(COSEL 製)  
消費電力 14.7W(最大)  
入力容量 34.0VA(最大)

※2

### サーキットプロテクタ



型式：NC1V-2100-1AA  
(IDEC 製)  
定格電流 1A

MEMO

## 販売元



**NTT SMILE ENERGY**

**株式会社 NTT スマイルエナジー**

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

**06-6221-1234**

お問い合わせ [support@nttse.com](mailto:support@nttse.com)

**施工**に関する  
ご質問・ご相談は…

エコめがね  
サービス  
ヘルプデスク

**06-6221-0222**

受付時間

10:00 ~ 18:00